

財団法人セゾン文化財団

# THE SAISON FOUNDATION

2003年度事業報告書  
2003年4月—2004年3月



文化財団、美術館、博物館等、文化芸術を推進する組織の在り方を考えると、今日は極めて大きな転換期のように思われます。

そのひとつの原因は、経済におけるグローバリゼーションがそれぞれの国家、地域、人種、民族の文化・芸術の個性を無視して、市場原理主義とも呼ぶべき力を振りはじめていることです。

第二にはそれを促進するためであるかのように、本来公共的な組織財政で維持されるべき国公立の組織に独立行政法人化の方策が決定され、その結果として、当初のスローガンとは逆にこれらの組織に対して関係官庁のチェックが頻繁になったことです。その結果、公的な性質を持つ機関は独自の大胆な企画を実行しにくくなっているように思われます。その影響なのでしょうか、入場者の増大に力点を置いて企画の質を二の次にするような動きが少しずつ増えつつあるように見受けられます。言い換えれば文化芸術組織の活動におけるポピュリズムの浸透がはじまっているということでしょうか。

第三には成熟した工業国家における社会的活力の減退が、芸術文化の全分野において、創造する力の衰退となって現れているということがあります。それは、助成を申請する団体、個人数は増加しているにもかかわらず、質を重視した場合の助成対象の数は減少気味であるという点に現れています。

以上のことは、私たちセゾン文化財団を日本の今日の社会のなかに置いて考えた時、大きな危機的要素を孕んだ転換期にさしかかっているということが言えるのではないのでしょうか。

その上、超低金利状態が続いているために私たちの活動の総量は減少せざるを得ない状態に置かれてもいます。

こうした危機を乗り越え、今まで私たちを応援して下さいた社会、企業、個人、そして公的機関の期待に応え、財団本来の社会的役割を果たしていくために、私たちはどのような努力をすべきでしょうか。

私は今までの私たちの活動の実績、その成果と弱点を客観的に点検し直し、相互刺激の機会を増加させる等、活動のネットワーク化を組織したいと考えます。例えば援助する財団と援助を受ける団体、個人という一方的な流ればかりでなく、助成を受けた側からの財団

への働きかけを受けるという双方向の関係を作り出すことで相互啓発の関係を作り上げることがお互いに創造への挑戦の気構えを作っていく契機になるのではないかと考えます。

そのためにも第二に私たち自身の批評、評価能力を高め、新しい才能を発見するアンテナを高く張り巡らす必要があると思います。これは言うは易くしてなかなか実行は難しいことです。活動の年月が積み重なるにつれて、どうしても私たちは前例に照らして判断をするようになります。それは一面から見れば事大主義という謗りを免れません。歴史の古い組織の中にこのような弊害が生まれていることを私たちは知っています。そうならないように常に新しいものへの好奇心を維持しなければならないと私は自戒している次第です。

第三に国際的視点を更に広げ、新しい創造の源泉への働きかけを強化することです。私たちは仲間と言ってもいい友好団体のひとつにACC (Asian Cultural Council) という組織があることを知っています。

アジアの多様な、伝統にしっかりした基礎を持つ新しい文化芸術は、いま何度目かの開花期を迎えつつあると私は思います。伝統と前衛の創造的対決という構図のなかに物差しのひとつを置いてみるのが今求められているのではないかという気が私にはします。

大きな変革の時代は、見方を変えれば芸術文化の発展の好機が来ている時代だと思います。またひとつの地域や国の経済の将来はその文化芸術が創造的かどうかにかかっていると言われています。また伝統は破壊しようとする力が働くことによって蘇<sup>よみがえ</sup>るということを私たちは知っています。

終わりに今までの財団の活動に理解と協力をして下さった皆様に厚く御礼を申し上げ、私たちの活動に更なるお力添えを下さいますようお願い申し上げます。

2004年10月

財団法人セゾン文化財団  
理事長 堤 清二

## Preface

As we look at the present state of the organizations that promote art and culture in Japan, such as cultural foundations and museums for art and for other genres, it seems we are now facing a crucial era of transition in our history.

One of the factors propelling this change is the spread of globalization in the economic world, which is becoming a raging force that can be described as market fundamentalism that disregards the uniqueness of the culture and art of each nation, region, ethnicity, and people.

Another feature that seems to be boosting this change is the introduction of the independent administrative institution system into national and regional organizations in Japan, which normally ought to be operated by public organizational funding. This has led to a situation in which inspections of these organizations by related government offices have increased, which, ironically, goes against the initial aims of bringing in this particular system, and thus keeping such public organizations from implementing original and dynamic projects into action. As a result, emphasis is now gradually being placed upon matters such as how to increase audience figures instead of improving the quality of an exhibition. It can be said, therefore, that the penetration of lowbrow populism among arts and cultural organizations has now begun.

Thirdly, the regression of vitality within the societies of advanced industrialized nations, which has led to the decline of creativity in the arts and culture in general, is another element behind this transition in Japan. This phenomenon of decay in creativity can be observed in the downward tendency in the number of actual grant recipients, especially in cases when artistic quality is strictly regarded as being the most important issue during the screening and selection process of a funding source, despite the increase in the number of grant applications from organizations and individuals over the past recent years.

From the points mentioned above, I believe it is clear — and painfully real when one reflects on the fact that the Saison Foundation actually exists within this present society of Japan — that we are coming to an exceptionally dangerous period of transition.

Moreover, the situation of having extremely low interest rates, which has been going on for too many years in this country, has forced us to reduce the gross amount of our foundation's activities.

In times like these, how are we to overcome such a crisis and carry out our social responsibilities in a way that we can live up to the expectations of our society, and of the corporations, individuals, and the public organizations that have supported and encouraged us over these years?

First of all, it is necessary for us to establish a network of related activities by and with our partners that will allow us to review our foundation's activities and results of the past, and

analyze our successes and our weaknesses objectively, and to create opportunities of stimulating interaction between our partners. For instance, instead of the conservative, one-way link between the grant-making foundation and the grant-receiving organization/individual, we believe it is important to create a two-way association with our grant recipients, in which they can propose ideas and projects to us, and from which we may build a relationship together that will be enlightening to both parties. Such an association should bring opportunities to renew a strong and healthy desire among us all to challenge our capabilities in creativity.

Secondly, in order to establish such a network, we ourselves need to hone our senses of criticism and evaluation and set up a tall and sensitive antenna that will discover new talents. This, however, is easier said than done. It is quite clear that established organizations with a long history tend to fall into the trap of toadyism and of making decisions based on precedents. One way to avoid this is to constantly maintain our interest and excitement in the new and the unknown.

And finally, we must broaden our international outlook more than ever to discover and encourage new sources of creativity. Our partnerships with organizations such as the Asian Cultural Council (ACC) of New York, with whom we have maintained a close and friendly relationship for many years, will of course be effective in this task.

Meanwhile, I feel that various new arts and culture in Asia that have deep traditional roots are about to enter another promising era again as they have had a number of times in the past. This development tells us that now is the time to place one of our perspectives within the confrontational yet creative relationship between the traditional and the avant-garde.

On a brighter side, I believe that an era of radical change tells us that we are about to enter an era of great opportunities for the arts and culture. Likewise, it is often said that the future of a region's or a nation's economy depends on how creative its arts and culture is. Additionally, we are also aware of the fact that when there are forces that try to destroy it, tradition is brought back to life again and is revived.

Lastly, I would like to thank those sincerely who have been compassionate and shown encouragement towards the activities of the Saison Foundation over the years. We look forward to your continuing and increasing support to our organization.

October 2004

**Seiji Tsutsumi**  
President  
The Saison Foundation

### 助成事業

#### I. 国内プログラム

##### 1. 現代演劇・舞踊助成——創造環境整備

###### ワークショップ、会議、シンポジウム等

演劇・舞踊界の人材育成、システム改善、情報交流など芸術創造を支える環境の整備を目的とした助成プログラム。ワークショップ、会議、シンポジウム等の企画に対し、企画経費の一部を助成(2003年度実績:40万円～150万円)し、審査のうえ会場として森下スタジオを提供する(スタジオ提供のみの場合あり)。原則として同一テーマ/企画の継続助成は3年間を限度とする。現代演劇・舞踊界が現在抱えている問題点を明らかにし、その解決方法を具体的に提案する次の事業を重視する:

- 演出家、俳優、振付家、ダンサー、制作者、技術スタッフ等の技術向上を目的とした経験者対象の人材育成プログラム
- 劇場等による人材発掘・育成企画
- 芸術支援を巡る議論が活発化することを目的とした政策提言や、その基礎となるべき系統だった調査・研究
- 情報交流の場の提供、情報公開を推進するシステムの整備などを目的とした会議、シンポジウムなど

###### アーツマネジメント留学・研修

国際的視野を持つアーツマネジャーの養成、日本でのアーツマネジメント教育の普及を目的とした海外への留学・研修に対し、100万円を上限として留学資金の一部を助成する。対象は下記のすべての条件を満たしている者とする。

- 演劇・舞踊関連の芸術経営/運営の専門家として3年以上の職歴があること
- 海外の専門教育機関への留学、あるいは劇場・芸術団体への3カ月以上の研修が内定していること
- 帰国後に留学の成果を活かし、国内の演劇・舞踊の振興に寄与する意欲と長期的展望を有すること

##### 2. 現代演劇・舞踊助成——芸術創造

###### 芸術創造活動 I

演劇界・舞踊界での活躍が期待される若手の芸術家/芸術団体に対し、経常費を含む年間の活動経費全般を対象に、その一部に対して助成金を交付(2003年度実績:300万円/件)。および希望者には公演稽古、ワークショップ開催の場として森下スタジオを審査のうえ提供。原則3年間にわたって助成を行うが、継続の可否に関しては毎年見直す。対象は下記すべての条件を満たしている個人または団体とする。ただし、個人の場合は、将来団体の設立を目標としていることを前提とし、プロデュース団体の場合は中心となる芸術家(演出家、脚本家、振付家)が固定していることを条件とする。

- 申請時点で過去3回以上の公演実績がある
- 活動歴が15年未満
- 2002年度の支出規模が400万円以上である

###### 芸術創造活動 II

「芸術創造活動 I」の助成期間を終了した団体を申請対象者とする特別な継続助成プログラム。経常費を含む年間の活動費全般を対象に、その一部に対して助成金を交付(2003年度実績:300万円/件)。および希望者には公演稽古、ワークショップ開催の場として森下スタジオを審査のうえ提供。原則3年間にわたって助成を行うが、継続の可否に関しては毎年見直す。なお、本プログラムは2001年度の時点で〈芸術創造活動 I〉の助成を受けていた団体の申請をもって終了する。

###### 特別助成【非公募】

国内における現代演劇・舞踊以外の芸術・文化分野の活動を支援。

#### II. 国際交流プログラム

##### 1. 知的交流

###### 現代演劇・舞踊助成——知的交流活動

日本の現代演劇・舞踊芸術に関する会議・シンポジウムの開催、翻訳出版、上演を目的とした翻訳などを通じた日本文化の紹介、および異文化理解を目的とした個人研修に対する助成プログラム。対

象者には企画経費の一部を助成(2003年度実績:80万円~150万円)し、希望者には会議等の会場として森下スタジオを審査のうえ提供。

#### **翻訳出版助成【非公募】**

日本の社会科学・人文科学や文学に関する文献を海外に継続的に紹介する活動および関連事業に対して資金援助する。

## **2. 芸術交流**

### **現代演劇・舞踊助成——芸術交流活動Ⅰ:プロジェクト支援**

演劇・舞踊芸術の国際交流を通じた創造活動の活性化、ならびに日本の舞台芸術の国際化を目的とした、国際共同作業および公演、あるいはその過程で行われるワークショップ等に対するプログラム。森下スタジオの提供のみ(資金助成は非公募)。対象は、公演の主体となる芸術家/芸術団体、または企画をプロデュース/マネジメントする個人/団体。ただし、海外の芸術家/芸術団体が日本で公演を行う場合は、日本側の受け入れ先が確定していることを条件とする。特に日本の現代演劇・舞踊の紹介に継続的に取り組もうとする非営利機関との共同創造事業を優先的に支援する。

### **現代演劇・舞踊助成——芸術交流活動Ⅱ:継続プロジェクト支援**

演劇・舞踊の国際交流において特に重要な意義をもつと思われる2年以上の継続プロジェクトへの支援を目的とした助成プログラム。企画経費の一部に対して助成金を交付(2003年度実績:300万円/件)。希望者には公演稽古、ワークショップ開催の場として森下スタジオを審査のうえ提供。3年を上限として助成を行うが、継続の可否に関しては毎年見直す。対象となるのは、申請時点で国際交流関係の事業の実績を持ち、活動歴が10年以上の個人/団体。プロデュース団体の場合は中心となる芸術家(演出家、脚本家、振付家)が固定していることを条件とする。

#### **芸術交流活動【非公募】**

海外の非営利団体との継続的なパートナーシップに基づいた芸術創造活動、日本文化紹介事業、フェローシッププログラム等に対して資金を提供する。

## **自主制作事業・共催事業(セゾンシアタープログラム)**

自主製作事業としてセミナー、ワークショップ、シンポジウムの主催、ニュースレターの刊行などを行う。

共催事業「セゾンシアタープログラム」では、現代演劇・舞踊の創造過程を支援し、かつ日本の舞台芸術界を活性化させるために非営利団体等と協力して創造性ある企画を実施。

### GRANT PROGRAMS

The grant-making activities of the Saison Foundation consist of (I) national programs designed to activate the fields of contemporary Japanese theater and dance, and (II) international programs intended to promote mutual understanding between Japan and other nations through intellectual and artistic exchange projects.

#### I. National Programs

##### 1. Contemporary Theater and Dance — *Creative Environment Improvement Program*

###### **For Workshops, Conferences, Symposia, etc.**

This category supports workshops, conferences, symposia, and other projects that are organized to improve the infrastructure of the contemporary Japanese theater and dance community (Range of grants given in this program in 2003: ¥400,000 – ¥1,500,000). Priority use of the Foundation's rehearsal facilities in Tokyo (Morishita Studio) may be awarded instead of grants depending on the nature of the project.

For the year 2003, the Foundation invited projects with the following purposes in particular:

- Training workshops for improving directing, acting, choreographing, dancing, administrating, and technical skills
- Talent discovery/development programs by halls and performing spaces, etc.
- Policy proposal projects for generating discussions on art support issues, or systematic research projects with the aim to lay the groundwork for such discussions
- Conferences or symposia for promoting data and information sharing/disclosure systems within the performing arts

###### **For Arts Management Studies**

This category within the program assists Japanese performing arts managers to go abroad and study arts administration at universities or other educational institutions, or to undertake internships at performing arts organizations outside of Japan by awarding scholarships up to ¥1,000,000. Applicants must have (a) more than three years professional experience in the field of performing arts administration, and (b) approval from the educational institution or performing arts organization accepting him or her for a period of more than three months, and (c) a long-term plan on how to contribute toward the development of Japanese theater or dance by applying the skills and knowledge acquired through their studies or internship.

##### 2. Contemporary Theater and Dance — *Artistic Creativity Enhancement (ACE) Programs*

The aim of this general operating support program is to allow artists and/or companies to concentrate on their artistic work by awarding long-term grants of between three to six years and priority use of Morishita Studio for rehearsals. Grants are given to young and promising Japanese theater and dance artists/companies (Program I), and to those among the more mature generation who are expected to widen their sphere of activity on the international platform in the near future (Program II).

###### **Artistic Creativity Enhancement (ACE) Program I**

This program awards grants and priority use of Morishita Studio for three consecutive years as a rule to promising Japanese theater and dance artists/companies with an active history of less than fifteen years and whose expenditures for the previous fiscal year were or are expected to be over ¥4,000,000. Individual artists are required to establish a company or organization in the near future. (Range of grants given in this program in 2003: ¥3,000,000/company.)

###### **Artistic Creativity Enhancement (ACE) Program II**

Grants and priority use of Morishita Studio are awarded for another three years as a rule to grantees chosen among the companies who have completed the above program. (Range of grants given in this program in 2003: ¥3,000,000/company.) This program will be terminated after those receiving the ACE I grants from 2001 or earlier use up their application rights.

###### **Special Project Support Program (designated fund program)**

This program awards grants to cultural or artistic projects belonging to fields other than contemporary theater or dance.

Note: Applications to this program are not publicly invited.

#### II. International Programs

##### 1. Intellectual Exchange Programs

###### **Contemporary Theater and Dance — *Intellectual Exchange Program***

The Contemporary Theater and Dance — Intellectual Exchange Program supports conferences, symposia, translations/publications and other related projects that improve the visibility of contemporary Japanese theater and dance within the international performing arts community (Grants given in this program in 2003: ¥800,000 – ¥1,500,000/grantee). Priority use of Morishita Studio is also awarded depending on the grantee's request. The program also assists artists who plan to conduct travel projects to acquire a deeper understanding of other cultures.

### **Translation/Publication Project Program (designated fund program)**

Financial support is provided to translation and publication projects of Japanese social science and humanities literature and to other activities related to these areas.

Note: Applications to this program are not publicly invited.

## **2. Artistic Exchange Programs**

### **Contemporary Theater and Dance — Creative Exchange Program (Studio Award)**

The aim of this program is to stimulate international creative projects and to promote Japanese performing arts on a global scale, including collaboration projects and performances, and/or workshops held during the process of such activities (only Studio Awards are given under this program). Artists/companies organizing collaboration projects or performance tours, or individuals and organizations involved in the production and/or management of the above projects are eligible to apply to this program. Artists/companies based outside of Japan who are planning to conduct a tour in Japan are required to find a Japanese host organization before submitting an application. Priority will be given to collaboration projects with not-for-profit organizations outside of Japan that are committed to working with and presenting contemporary Japanese theater and dance artists/companies.

### **Contemporary Theater and Dance — Creative Exchange Program — For Long-Term Projects**

A program in which long-term grants are awarded to international exchange projects in which contemporary Japanese theater or dance artists/companies are involved and require more than two years until completion. (Grants given in this program in 2003: ¥3,000,000/grantee). Priority use of Morishita Studio is also awarded upon request. Those eligible to apply to this program are (a) individuals or companies based in Japan with a professional career of more than ten years in the field of performing arts, and (b) with a history of artistic achievements in the area of intercultural exchange activities at the time of application.

### **Artistic Exchange Project Program (designated fund program)**

This designated fund program supports activities conducted by not-for-profit organizations outside of Japan with a continuous partnership with the Saison Foundation, including creative work by artists/companies, projects with the aim to familiarize Japanese culture to other nations, and fellowship programs.

Note: Applications to this program are not publicly invited.

---

## **SPONSORSHIP AND CO-SPONSORSHIP PROGRAMS SAISON THEATER PROGRAM**

---

Apart from making grants, the Saison Foundation sponsors and organizes seminars, workshops, and symposia, and publishes a quarterly newsletter.

In order to support and enhance the creative process within contemporary theater and dance and to stimulate the performing arts scene in Japan, the Saison Foundation also organizes creative projects by working with artists/companies, not-for-profit organizations, and other groups under its co-sponsorship program known as the Saison Theater Program.



## 本年度の事業について

片山正夫  
常務理事

本年度は、現代演劇・舞踊分野を中心に、44件、総額6,900万円の助成を行った。また同分野に関連した共催事業を3件開催した。

助成金については、昨年度の約2,000万円(前年比▲17%)の削減に続き、本年度も約3,000万円(同▲30%)の大幅な減額を余儀なくされることとなった。財産運用収入こそ昨年比97%を確保したものの、昨年度6,750万円あった寄付金収入が得られないことになり、当期収入が大きく落ち込んだためである。今後も、当面は大口の寄付金を当てにしない収入予算を組んでいかざるを得ないと思われるが、諸経費の削減や財産運用の効率化をいっそう図ることで、助成額は現状の水準を最低線として維持できるよう努めたいと考えている。

当財団の場合、多くのプログラムが複数年度にわたる支援を基本に据えている。そのため、その年ごとの見込収入に合わせて助成金予算を調整するということが簡単には行えない。削減が必要になった場合は、一律に何パーセントかカットするというやり方は避け、原則として事業・プログラム単位で存廃を検討することとしている。

たとえば、ニューヨークの**ジャパン・ソサエティー**とのパートナーシップに基づいて行われた**Japanese Theater NOW**は、昨年度、当初計画の5ヵ年を終了したが、日本の現代演劇を米国で継続的に紹介するこの試みには、予想以上に高い成果が認められた。ジャパン・ソサエティー側の努力により、回を重ねるごとに公演する都市も増え、大学でのワークショップやトークイベントなど関連企画も充実した。加えて当地のメディアで紹介されることも徐々に多くなった。このような実績を評価し、当財団では来年度から新たに5年間、このプログラムを継続することとした。

また本年度は、翻訳出版に関する2つのプログラムが当初の予定期間を終了した。ひとつは**日中現代詩交流プログラム**である。同プログラムに対しては、準備年である2000年度から4年度にわたり支援してきたが、本年度、日本の現代詩262篇の中国語訳が収録された『日本当代詩選』の発刊をもって、所期の目的を達する運びとなった。本書は中国全土で販売される予定であり、これをもって同プログラムは完結となる。

もうひとつは、ミュンヘンの出版社である**ユディツィウム社**との提携によるプログラムである。同プログラムは、日本の精神文化に関する優れた著作を年2冊ずつドイツ語に翻訳し、ドイツで出版するものであるが、当初予定の5年が満了した現時点で、すでに10タイトルの著作が刊行、または刊行準備中である。こちらについては、日独

間に現在同趣旨の継続プログラムがないため、ユディツィウム社と協議のうえ、テーマをより現代的な問題に絞り、さらに3年間継続することを決定した。

今後も以上の例のように、一応の目的が達せられたものについては一旦完結させることとし、いっぼう依然としてその重要性に変わりがなく、かつ他の支援機関に同様のプログラムがない場合は、可能な限り継続させていくことを基本方針としていくつもりである。

\* \* \*

当財団は本年度、社団法人企業メセナ協議会よりメセナ大賞2003「舞台芸術牽引賞」を授与された。本来であれば、われわれのような支援を専門とする機関ではなく、本業をもちつつメセナ活動を行う企業の方々が受けるべき賞なのであろうが、資金的に厳しいなか活動を続けている折柄、大変励みになる受賞であった。

その際に評価のポイントになったのは、①場の提供など、助成金だけでない複合的な支援を行っている ②演劇・舞踊団体の創造面を支え、リードしてきた という点であった。また、メセナ大賞の各賞を受けた企業・財団のなかからは、さらに、同協議会のニュースレターの読者投票により「メセナnote読者賞」が選ばれることになっている。当財団は結果的に受賞はならなかったが、その際当財団に投票した読者が挙げた推薦理由から特に多いものを拾ってみると、以下のようであった。

- ・ 現在活躍中のアーティストを早い段階から支援してきた
- ・ 複合的な支援やインフラの整備など、文化行政の届かないところに柱を置いている
- ・ 長期的視点に立って支援活動を行っている
- ・ 応募団体に対するケア、チェックシステムが優れている

このほか**森下スタジオ**での活動や、現代演劇・現代舞踊分野を支援先に選んだこと自体を高く評価する声も聞かれた。投票したのは芸術支援に日頃から高い関心を寄せる人々であると思われるが、当財団がこれまで重視してきた指針が正確に理解され、実績として認知されていることをたいへん心強く感じた次第である。

本年度の事業においても、これらの基本的な考えは変わらずに貫かれている。各プログラムのレビューから、ぜひその点をお読み取り願いたい。これからも、民間財団として堅持していくべき理念と、臆せず過去を否定していく姿勢とを併せ持ちつつ活動を続けたいと考えている。



## About Our Programs in 2003

Masao Katayama  
Managing Director

In 2003, the Saison Foundation appropriated a total of ¥69,000,000 for grants mainly in the fields of contemporary theater and dance to forty-four applicants, and took part in organizing or coordinating three co-sponsorship programs related to those two genres of the performing arts.

Regarding the financial aspects of our grant programs in 2003, we had to make a drastic cutback of ¥30,000,000 (or, in other words, a 30% drop) in contrast to the total grant amount of the previous year, which regrettably followed the example of 2002, in which we had to cut ¥20,000,000 (a 17% drop) from the total grant amount of 2001. Although we gained investment income from operating funds in 2003 that added up to 97% of that of 2002, the major reason why we had to reduce the total amount of our grant awards in 2003 was because we did not receive any income from contributions — unlike the previous year during which we received ¥67,500,000 — and thus our net total revenue saw a huge drop this year. Since we cannot count on in receiving large sums of contributions for the time being, we need to cut costs and make our asset management schemes more efficient in order to keep the above-reported annual grant total of 2003 as the bottom line and not to allow any more cutbacks in our future grant program funds.

Many of our grant programs are designed and operated with the idea of giving long-term grants in mind; consequently, it is not a question of simply modifying our grant budget in accordance with our estimated income each year. If we have to reduce our budget, we avoid making across-the-board cuts of 17% or 30%; instead, we appraise each program or project and decide what needs continuing support or not.

One example of a successful long-term grant is *Japanese Theater NOW*, a project that had been run by a partnership between the **Japan Society** of New York and our foundation, which concluded its original five-year plan in 2002. This project, which was designed to present contemporary Japanese theater to American audiences continuously, created amazing results that were beyond our expectations. Thanks to the efforts of the Japan Society, the number of touring cities in North America increased year after year, and the project's quality improved as well by adding workshops at universities and post-performance discussion sessions, while exposure in the local media gradually increased. Naturally, we evaluated this program to be extremely effective and have decided to launch another five-year series starting from fiscal year 2004.

Furthermore, two long-term translation/publishing projects were completed in 2003 as scheduled. One project was the **Sino-Japanese Contemporary Poetry Exchange Program**, to which we have supported for four years in a row since its preparatory year in 2000. This program's goal, which was to publish an anthology of 262 Japanese poems translated into Chinese, was achieved in 2003 and will be concluded when the anthology will be on

sale throughout China as originally planned.

The other translation/publishing project was operated through our partnership with **judicium Verlag** of Munich, in which each year two books on Japanese ethos were translated into German and published in Germany. When the original five-year plan of this program ended, ten titles were either already published through the program or were in the production stage. In the case of this program, both parties have decided to continue a slightly modified version — such as focusing on more or less contemporary themes — for another three years, since there are no other multi-year projects of this kind taking place between our two nations.

As described in these examples, the basic policy in our grant-making operations is that projects whose goals have been achieved to a certain level will be viewed as being “completed,” while projects whose significance still remain unchanged and yet do not have similar programs being run by other funding organizations will be continued as long as possible.

\* \* \*

We are proud to announce that our foundation received the “Mecenat Award for Leading the Theatrical Arts” from the Association for Corporate Support of the Arts, Japan (Kigyo Mecenat Kyogikai) as part of its Japan Mecenat Awards in 2003. Instead of an organization like ours — whose sole objective is to support the arts and that specializes in grant-making activities — normally such an award ought to be given to a corporation that conducts arts support programs while having to operate their main businesses. Yet this decision by the Association has been most encouraging for us at a time when our programs and activities are being run under harsh financial situations.

In the case of this award, our foundation was chosen for (1) its compound support system that includes not only grant programs but also other features as well such as providing space and opportunities to those working in the performing arts, and (2) sustaining the creative aspects of theater and dance companies and for being a leader in this area of arts support. Among those corporations and foundations that received a Mecenat Award, one organization is chosen each year for the Mecenat Note Readers' Award, which is based on the Association's newsletter readers' poll. Although another organization won this award in 2003, we received the following comments that were given by the readers as their reason for recommending the Saison Foundation for this award:

- The foundation has supported artists that are active at the forefront of the present performing arts world from an early stage
- The foundation places emphasis in areas that public administrative offices have not been able to explore, such as

operating compound support systems and improving the infrastructural aspects of the performing arts world

- The foundation has been conducting arts support activities from a long-range viewpoint
- The foundation's assessment and care system for their applicants have been excellent

Additionally, we received positive comments on our activities at and through **Morishita Studio**, our building in Tokyo that houses rehearsal facilities, and on the fact itself that we chose contemporary theater and dance for our areas of support. The readers of the Association's newsletter are presumed to be people who have been long concerned about arts support issues, and we find it extremely reassuring that our principles have been understood correctly and that our achievements based upon those principles have gained their recognition.

Needless to say, these principles are reflected in our activities in 2003 as well as in each program review within this annual report. I hope you will see how we at the Saison Foundation plan to keep on moving on — while rejecting to rest upon our laurels — with our faith deeply rooted in the ideas that are shared by innovative private foundations around the world.



Kazuo Kinumura, present Chairman of The Saison Foundation, gives an address of gratitude after receiving the Mecenat Award for Leading the Theatrical Arts at the Association for Corporate Support of the Arts' Japan Mecenat Awards ceremony on November 27, 2003.

# 国内プログラム National Programs

## 1. 現代演劇・舞踊助成——創造環境整備

### Contemporary Theater and Dance — Creative Environment Improvement Program

創造環境整備プログラムでは、現代演劇・舞踊界の創造基盤に関わる問題解決・改善に向けての活動を支援することを目的としている。2003年度は22件の事業を採択した。

本プログラムでは、ここ数年、俳優教育の問題に取り組むプロジェクトの採択を積極的に行っている。これは、その必要性を訴える声が多いにも関わらず、未だ機会が充分ではないとされる俳優教育の多様な方法を支援することで今後の俳優教育のあり方を模索するものである。

今年度で助成期間が終了する**日本劇団協議会**の「フィリップ・ゴリエ演劇ワークショップ（ジャック・ルコック・メソッドによる演技創造）」は、森下スタジオを利用して3年間の俳優ワークショップを実施してきた。この3年間で参加者のリピーター率は全体の三分の一を超え、海外からの参加もあるなど内容への信頼度は高い。また、3年間で修得したワークショップの運営方法を活かし、今後もより細やかなプログラム編成を組み継続していくとのことなので期待したい。その他にも、今年度から**池内美奈子**による「ヴォイス&スピーチ・コース——ショーケースを目的とした声と言葉のトレーニング・コース」への助成を開始した。氏は、自身の経験から演劇におけるヴォイス・トレーニングの必要性を感じ、トレーナーとしての教育を英国で修め日本での普及に力を注いでおり、その手法に注目が集まっている。**ネットワークユニット Duo**による「俳優指導者養成ゼミ——俳優指導者になるためのイントロダクション」は、俳優指導の専門家育成が急務と考え立ち上がった期間集中セミナーである。海外

で俳優教育の専門家としての学問を修めて帰国した人材を活かしたワークショップ形式で実施された。参加者は、俳優から現役の演劇教育者にまでわたりその反響は大きい。また、昨年から助成している **tpt**（シアタープロジェクト・東京）シアターコースでは、受講者たちの中から劇団を立ち上げる動きも出ていよう。

もうひとつの大きな傾向としてあげられるのは、東京以外の地域での演劇、舞踊活動の活性化の動きである。設立準備室の立ち上げから5年目を迎える **Japan Contemporary Dance Network (JCDN)** は2001年に引き続き森下スタジオで情報交換とセミナーをかねた「JCDNダンスフォーラム2003」を開催し、全国から100名余りの現代舞踊関係者を集めた。**大野八重子**による「ダンス・クリエイティブ・ネットワーク」は、松山—京都間の現代舞踊の交流からその活性化を図ろうとする試みである。演劇では、**おかやまアートファーム**の「岡山舞台芸術ゼミナール」から「水蜜桃」という演劇ユニットが誕生し、2004年には本公演を実施する予定だ。**アートネットワーク・ジャパン**では、地方の劇作家・演出家と東京の俳優の共同制作から二本の作品をそれぞれの地域と東京で制作し、東京国際芸術祭で発表。さらに他地域での巡演が決まった。このような東京圏外の地域での活発な活動を概観すると、地域文化の牽引者やアーツNPOの創作環境の充実に向けての真摯な取り組みが浮かび上がってくる。

## 現代演劇・舞踊助成——創造環境整備

助成対象20件/助成総額：16,700,000円

### ■ダンススペースによる若手発掘・育成活動

特定非営利活動法人 ダンスボックス  
DANCE BOX——コンテンポラリーダンス育成支援プログラム——

2003年4月1日—2004年3月31日  
大阪 (Art Theatre dB)  
1,500,000円

### ■批評家養成

クリティック・ライン・プロジェクト実行委員会  
クリティック・ライン・プロジェクト (CLP) および  
ポスト・パフォーマンス・トーク・プロジェクト (PPTP)

2003年4月1日—2005年3月31日  
東京 (CLP: インターネット上 [http://clp.natsug.sj/] / PPTP: 世田谷パブリックシアター他)  
700,000円

### ■ワークショップ・人材育成

#### 【演劇】

特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパン  
地方の劇作家・演出家と東京の俳優との共同制作  
2004年3月6日—3月7日  
東京 (東京芸術劇場小ホール2)  
1,000,000円  
スタジオ提供11日間

(有) アゴラ企画/青年団  
オリジナルのワークショップを創る研究会  
2003年5月8日—2004年3月20日  
東京 (こまばアゴラ劇場、旧千川小学校、みなとNPOハウス、利賀アーパスセンター等)  
1,000,000円

**池内美奈子**  
ショーケースを目的とした声と言葉のトレーニング  
2003年12月1日—12月21日  
東京 (森下スタジオ)  
500,000円  
スタジオ提供25日間

**おかやまアートファーム**  
岡山舞台芸術ゼミナール・第3期  
2003年5月1日—2004年1月18日  
岡山 (旧出石小学校、西川アイプラザ)  
1,000,000円





A scene from *Angels in America* performed during the Voice and Speech Training and Showcase workshop organized by Minako Ikeuchi at Morishita Studio.



Documentary theater class by playwright and director Yoji Sakate (center), coordinated by Okayama Artfarm.

(有)シアタープロジェクト・東京

tptシアターコース2003

2003年8月11日ー2004年2月9日

東京(ペニサンスタジオ/ペニサン・ビット)

1,000,000円

(社)日本劇団協議会

フィリップ・ゴーリエ演劇ワークショップ

2003年7月28日ー8月8日

東京(森下スタジオ)

1,500,000円

スタジオ提供12日間

ネットワークユニットDuo

俳優指導者養成ゼミー俳優指導者になるためのイントロダクション・コース2003

2004年2月16日ー2月27日

東京(森下スタジオ)

1,000,000円

スタジオ提供10日間

ピープルシアター

国際演劇交流セミナー2003 プエルトリコ特集

2003年6月4日ー6月6日

東京(森下スタジオ)

500,000円

スタジオ提供3日間

【ダンス】

大野八重子

ダンス・クリエイティブ・ネットワーク

2003年5月18日ー2004年3月28日

愛媛・京都(Dance Labo.スタジオ、京都北ふれあい文化会館、松山大学体育館他)

1,000,000円

京都ダンスアカデミー

第7回京都ダンスアカデミー in Summer+in Winter

2003年8月10日ー2004年3月28日

京都(京都芸術センター、京都右京ふれあい文化会館)

1,000,000円

K・ダンスオフィス

2003年度木佐賀邦子+néo ダンスワークショップ

2003年7月10日ー2004年2月8日

東京(森下スタジオ)

スタジオ提供27日間

Co.山田うん

山田うん ダンスワークショップ

2003年11月1日ー11月7日

東京(森下スタジオ)

400,000円 スタジオ提供7日間

コンタクト・インプロビゼーショングループ C.I. co.

2003 コンタクト・インプロビゼーション・プロジェクト

2003年5月5日ー2004年4月30日

東京(森下スタジオ、セッションハウス、青山円形劇場)

1,000,000円 スタジオ提供37日間

スタッフ塾実行委員会

スタッフ塾 in 森下スタジオ パート2

2003年10月24日ー10月31日

東京(森下スタジオ)

1,000,000円 スタジオ提供17日間

S・O・L・O 1481367 Ontario Limited

クラス アンド トーク プロジェクト Vol. 2

2003年7月19日ー7月23日

東京(森下スタジオ)

スタジオ提供20日間

【“里帰り”ダンスワークショップ】

undo

安藤洋子コンテンポラリーダンスワークショップ

2003年7月28日ー8月3日

東京(森下スタジオ)

600,000円 スタジオ提供7日間

遠藤康行

創造活動における方法と可能性の模索

2003年7月11日ー12月28日

東京(森下スタジオ)

1,000,000円 スタジオ提供14日間

## ■情報交流

NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク

JCDNダンスフォーラム2003 ミーティング+シンポジウム「ダンスの持つ可能性ーワークショップ編」

2003年6月6日ー6月8日

東京(森下スタジオ)

1,000,000円 スタジオ提供3日間

The Creative Environment Improvement Program supports projects and activities aimed to overcome obstacles in or to improve the infrastructure that sustains contemporary theater and dance in Japan. In 2003, twenty organizations were awarded grants and/or priority use of Morishita Studio under this program.

One major characteristic in this program is the emphasis placed upon actor training programs, which is a field that is still underdeveloped in Japan despite the fact it is now widely recognized as being extremely necessary in our theater community. In order to improve and to discover effective actor training programs as much as possible, our foundation has been supporting this area actively and broadly during the past few years.

For example, we have supported a



Philippe Gaulier (left) gives advice to actors during a workshop organized by the Association of Japanese Theatre Companies at Morishita Studio, August 2003.



Playwright/director/actor/critic Roberto Ramos-Perea of Puerto Rico gives a lecture on Puerto Rican theater at Morishita Studio during his visit to Japan as a guest of People Theater of Tokyo, June 2003.

three-year series of workshops for actors at Morishita Studio organized by the **Association of Japanese Theatre Companies**, which ended this year with a workshop by Philippe Gaulier, founder and principal of the London-based international acting school L'ecole Philippe Gaulier (M. Gaulier's workshop was also held in the first year of this series as well). The workshop series became so reputable that more than one-third of the participants signed up for two or even three seasons, and there were even those who participated from abroad. The knowledge gained in operating such workshops will surely be effective in future. Furthermore, we began supporting a new workshop series focusing on voice and speech training by **Minako Ikeuchi** from 2003. Ikeuchi, who felt the lack of professional voice training by experts in the Japanese theater community from her personal experiences, went to the U.K. and studied at the Central School of Speech and Drama in London. After graduating from the school, she returned to Japan as a voice trainer and has been working to enhance training in this particular field, and her methods are now gaining recognition here. Another theater workshop that we are supporting is a series of intensive seminars for drama instructors conducted by **Network Unit Duo**, which began in order to fulfill the pressing need to train acting/drama instructors in Japan. The seminar has invited experts who have gained and received professional knowledge and training abroad to conduct the courses, and students range widely from professional actors to those actually working as drama instructors. Moreover, a unique result from a series of courses by **tpt** (Theatre Project Tokyo), to which we have

provided support since 2002, has arisen in the form of a new company that is being founded by its workshop participants.

Another major group of projects that we have been supporting under this grant program recently is the movement in regional areas that are aimed to stimulate and encourage local theater and dance activities. In 2003, for example, we made a grant and offered our facilities at Morishita Studio to **Japan Contemporary Dance Network (JCDN)**, a nationwide dance service organization that celebrated its fifth anniversary, so that its members and friends of approximately 100 people from various regions in Japan could get together and hold a convention since their last meeting in 2001. Another dance-related regional program that we supported was one that was coordinated by Yaeko Ohno, who activated a dialogue between contemporary dance artists in Matsuyama in Ehime prefecture and Kyoto. In the theater community, a unit called Suimitsutou (White Peach) was formed and will stage their work in 2004 as an outcome of the Okayama Performing Arts Seminars organized by **Okayama Artfarm**. In addition, a collaboration project of two drama works between regional playwrights/directors and Tokyo-based actors that took place in the capital and in other areas in the country was coordinated by **Arts Network Japan (ANJ)** and featured in the Tokyo International Arts Festival and will be staged in other regions as well. Such examples best illustrate the sincere and hard work done by individuals and art-related non-profit organizations in regional areas who aim to improve the creative environment in their local communities.

### Contemporary Theater and Dance — Creative Environment Improvement Program

20 Grantees/Total appropriations: ¥16,700,000

#### ■ Dance Development Programs at Performing Spaces

**NPO DANCE BOX**  
Contemporary Dance Artists' Development Support Program  
April 1, 2003 – March 31, 2004  
Osaka (Art Theatre dB)  
¥1,500,000

#### ■ Performing Arts Criticism Development

**Critic Line Project Committee**  
Critic Line Project and Post Performance Talk Project  
April 1, 2003 – March 31, 2004  
Tokyo (CLP: on the Internet/PPTP: Setagaya Public Theatre)  
¥700,000

#### ■ Workshops and Educational Projects

[Theater/Drama]

**Agora Planning LTD./Seinendan**  
**The Theatre Workshop Society**  
May 8, 2003 – March 20, 2004  
Tokyo (Komaba Agora Theatre, Former Senkawa Primary School, Minato NPO House, Toga Apas Centre, etc.)  
¥1,000,000

**Art Network Japan**  
Collaboration with local writers/directors and Tokyo-based actors  
March 6 – March 7, 2004  
Tokyo (The Tokyo Metropolitan Art Space Small Hall 2)  
¥1,000,000 Studio Rental: 11 days

**Association of Japanese Theatre Companies**  
**Philippe Gaulier Workshop**



Young and veteran stage crew members from Japan and Korea hold a discussion during the Staff Juku collaboration workshop at Morishita Studio, October 2003.



About 100 people from various areas attended the Japan Contemporary Dance Network (JCDN) meeting at Morishita Studio in June 2003.

July 28 – August 8, 2003  
Tokyo (Morishita Studio)  
¥1,500,000 Studio Rental: 12 days

**Ikeuchi Minako**  
**Voice and Speech Training and Showcase**  
December 1 – December 21, 2003  
Tokyo (Morishita Studio)  
¥500,000 Studio Rental: 25 days

**Network Unit Duo**  
**Seminar for Potential Acting Instructors**  
**2003**  
February 16 – February 27, 2004  
Tokyo (Morishita Studio)  
¥1,000,000 Studio Rental: 10 days

**Okayama Artfarm**  
**Okayama Performing Arts Seminary**  
May 1, 2003 – January 18, 2004  
Okayama (Izuishi School, Nishikawa Ai Plaza)  
¥1,000,000

**People Theater**  
**International Theatrical Exchange Seminar**  
**2003 Puerto Rico Special (featuring Roberto Ramos-Perea)**  
June 4 – June 6, 2003  
Tokyo (Morishita Studio)  
¥500,000 Studio Rental: 3 days

**Theatre Project Tokyo**  
**tpt Theatre Course 2003**  
August 11, 2003 – February 9, 2004  
Tokyo (Benisan Pit, Benisan Studio)  
¥1,000,000

[Dance]

**Co. Yamada Un**  
**Yamada Un Dance Workshop**  
November 1 – November 7, 2003  
Tokyo (Morishita Studio)  
¥400,000 Studio Rental: 7 days

**Contact Improvisation Group C.I.co.**  
**2003 Contact Improvisation Project**  
May 5, 2003 – April 30, 2004  
Tokyo (Morishita Studio, Session House, Aoyama Round Theater)  
¥1,000,000 Studio Rental: 37 days

**K•Dance Office**  
**Kisanuki Kuniko + néo Dance Workshop**  
**2003**

July 10, 2003 – February 8, 2004  
Tokyo (Morishita Studio)  
Studio Rental: 27 days

**Kyoto Dance Academy**  
**The 7th Kyoto Dance Academy in Summer + in Winter**  
August 10, 2003 – March 28, 2004  
Kyoto (Kyoto Art Center, Kyoto Ukyo Fureai Cultural Hall)  
¥1,000,000

**Yaeko Ohno**  
**Dance Creative Network**  
May 18, 2003 – March 28, 2004  
Ehime, Kyoto (Dance Lab. Studio, Kyoto Northern Cultural Center, Matsuyama University. etc.)  
¥1,000,000

**S.O.L.O. 1481367 Ontario Limited**  
**Class & Talk Project Vol. 2**  
July 19 – July 23, 2003  
Tokyo (Morishita Studio)  
Studio Rental: 20 days

**Staff Juku**  
**Theater Staff Collaboration Workshop Part 2**  
October 24 – October 31, 2003  
Tokyo (Morishita Studio)  
¥1,000,000 Studio Rental: 17 days

["Homecoming" Dance Workshops]

**Yasuyuki Endo**  
**Workshop for researching movement and creativity**  
July 11 – December 28, 2003  
Tokyo (Morishita Studio)  
¥1,000,000 Studio Rental: 14 days

**undo**  
**Yoko Ando Contemporary Dance Workshop**  
July 28 – August 3, 2003  
Tokyo (Morishita Studio)  
¥600,000 Studio Rental: 7 days

## ■ Data Sharing/Communication

**NPO Japan Contemporary Dance Network**  
**JCDN Dance Forum 2003 Meeting & Symposium: The Possibilities of Dance Workshops**  
June 6 – June 8, 2003  
Tokyo (Morishita Studio)  
¥1,000,000 Studio Rental: 3 days



## 2. 現代演劇・舞踊助成—芸術創造 Contemporary Theater and Dance — Artistic Creativity Enhancement (ACE) Programs

芸術団体に対し複数年にわたって運営助成を行う本プログラムでは、現代演劇・舞踊界での活躍が今後期待される若手と、次段階としてさらに国際的な活躍が期待される中堅の芸術団体の育成を目的とし、芸術創造活動ⅠとⅡの2段階（原則としてそれぞれ3年間の継続助成）で、助成金の交付および森下スタジオの提供による支援を行っている。

本年度は芸術創造活動Ⅰの助成対象者として、演劇のうずめ劇場と舞踊の珍しいキノコ舞踊団の2団体が新たに選抜された。また昨年度芸術創造活動Ⅰを終了した演劇の桃園会と舞踊のDance Theatre LUDENS、そして同様に2000年度に終了したイデビアン・クルーが芸術創造活動Ⅱに採択され、前年度からのⅠ、Ⅱの継続助成をあわせると11団体への助成を行った。

うずめ劇場は、天錫女（あまのうずめ）の名に象徴されるように、演劇が本来持つ人間と社会の関係を恢復させ活性化するという本質を追究し、体現していく演劇集団。1995年、北九州にて設立。旧東ドイツ出身で、ドイツで本格的な演劇教育を受けた主宰者ペーター・ゲスナーによる演劇メソッドを基盤に展開し、主に日本の60年代以降の小劇場運動への理解とシンパシーを動機として、既存の日本内外の戯曲を翻案・上演してきた。2002年、『いまわのきわ』で初の東京公演を実施。ゲスナーは第一回利賀演出家コンクール最優秀演出家賞、北九州市市民文化奨励賞を受賞している。

珍しいキノコ舞踊団は、「ダンスを研究」し、様々な角度から「ダンス」を捉え、劇場空間以外にもカフェ、オフィス、倉庫など特徴のある空間において、大きさや形態の異なる作品を発表しながらオリジナリティの確立を目指しているカンパニー。1990年、主宰の伊藤千枝らにより結成、中心メンバーによる合作というスタイルで作品を発表してきたが、代表作『フリル（ミニ）』（2000年）より演出、

振付、構成を伊藤が担当。同作品は日本舞踊批評家協会新人賞等を受賞。伊藤は2000年 横浜ダンスコレクション ソロ×デュオ Competitionで財団法人横浜市文化振興財団賞受賞。演劇やテレビ番組などでの振付も数多く行っている。

継続助成が決まったもののうち、4件が本年度で継続助成最終年度を迎えた。舞踊の **PROJECT FUKUROW** はテクノロジーと身体表現の融合を追求し、**Study of Live works 発条ト** は公演のみならず多くのワークショップ活動に取り組んできた。また演劇の劇団「**指輪ホテル**」は様々な分野のアーティストとのコラボレーションで成果を上げ、**演劇弁当 猫ニャー** は劇団運営や上演における試行錯誤を行ってきた。以上の団体については、今後はⅡの段階に再度助成申請することが可能となる。

本年度の活動概要については後述のデータ編を参照されたい。

The Artistic Creativity Enhancement (ACE) Programs, which offer operating support to theater and dance companies on a multi-year basis in the form of grants and priority use of Morishita Studio, are divided into two levels (basically three years for each level) depending on the length of their careers. The first level, Program I, is designed to support the young generation of artists whose activities are expected to make an impact on the fields of contemporary Japanese theater or dance in the future; Program II is for the further development of significant companies who are expected to become active within the international performing arts community.

In 2003, two companies joined the group of Program I grant recipients: the theater company **Uzume Theater** and the dance company **Strange Kinoko Dance Co.** In addition, **Toenkai** and **Dance Theatre LUDENS**, which completed their Program I grant term in 2002, and **Idevian Crew**, a

former grantee of Program I till 2000, were awarded another three-year grant period from Program II. As a result, a total of eleven companies were awarded grants under the two programs.

Uzume Theater is a theater company with the aim to pursue the original role of drama, i.e., to restore and refresh the relationship between people and society, just like its namesake, Uzume, the Japanese Shinto goddess of joy, happiness, and good health who brought light and life back to earth by luring out the sun goddess Amaterasu, who had hidden herself in a cave and thus covering the earth in darkness and infertility. Based in Kitakyushu, the company was established in 1995 by German director Peter Goessner, who received formal training in theater in former East Germany. The company's productions, which include adaptations of works from Japan and other countries, are based upon Goessner's drama methods while also borrowing factors from the Japanese *shougekijyo* (small theater) movement of the 1960s. In 2002, the company held its first performance in Tokyo with *Morir*, a play written by the Catalan playwright Sergi Belbel.

Strange Kinoko Dance Co. (the word *kinoko* means "mushrooms") has staged works of different sizes in regular performing art theaters and halls as well as unique spaces such as cafes, office buildings, and warehouses with the objective to "study dance" and to "view dance from various angles." The company was founded in 1990 and produced collaborative works created by its core members, including Chie Ito, the company's artistic director who is now solely responsible for the direction and choreography of each work since their highly praised 2000 production of *Frill (mini)*.

Among the grantees of the two programs, four companies completed their final year in 2003: **Project Fukurow**, the dance company known for fusing of technology and physical expression; **Study of Live works BANETO**, which has staged unique dance performances as well as numerous workshops; the theater company **Yubiwa Hotel**, which created interesting results from collaboration projects with artists from various genres; and **Engeki Bento Neko-Nya**, which experimented with the staging of their plays as well as with theater company management. All four of these companies are eligible to apply for another term in the Program II category.

Details on the activities of each grantee of these programs during 2003 are listed in the following pages.

**現代演劇・舞踊助成—芸術創造活動 I**

助成対象 7 件 / 助成総額 21,000,000 円

**Contemporary Theater and Dance — Artistic Creativity Enhancement Program I**

7 Grantees/Total appropriations: ¥21,000,000

うずめ劇場 [演劇/福岡]  
Uzume Theater [theater/Fukuoka]

**2003年度より**  
From 2003



A scene from the performance of *Penthesilea* in Kitakyushu (Fukuoka), September 2003. Photo: Hideki Koga



Peter Goessner

主宰: ペーター・ゲスナー (演出家)

制作: 五島朋子

artistic director: Peter Goessner (director)

producer: Tomoko Goto

QWD00744@nifty.ne.jp

<http://www.uzume.org>

■継続助成対象期間

2003年度から2005年度まで

■2003年度の助成内容

年度: 2003年4月1日—2004年3月31日

金額: 3,000,000 円

■2003年度の主な活動

【公演活動】

5月: 音楽劇『ペーターと狼』福岡公演

9–10月: 『ペンテジレア』福岡、京都、東京公演

11月: 『ハイナー・ミュラー・ザ・ワールド』参加 (東京)

3月: 『火あぶり/班女』福岡公演 (同劇団若手による)

【プロデュース活動】

5月: 『プロコフィエフ/朝川万里ピアノコンサート』福岡公演

12月: SPAC (静岡県舞台芸術センター) 『リア王』福岡公演

【俳優訓練】

8月: 利賀演劇塾に参加

1月: 桜井大造特別ワークショップ

【その他】

3月: ゲスナーによる台湾芸術大学演劇ワークショップ

■Grant-receiving term

From 2003 to 2005

■Details on support during fiscal year 2003

Fiscal year: April 1, 2003 – March 31, 2004

Grant: ¥3,000,000

■Major activities during fiscal year 2003

【Performances】

May: Performances of Prokofiev's *Peter and the Wolf* in Fukuoka

September – October: Tour of Heinrich von Kleist's *Penthesilea* in Fukuoka, Kyoto, and Tokyo

November: Participation in the "Heiner Müller/ The World" event in Tokyo

March: Performances of Senzaburo Suzuki's *Burning Her Alive* and Yukio Mishima's *Hanjo* by young members of the company in Fukuoka

【Production】

May: Prokofiev / Mari Asakawa Piano Concert in Fukuoka

December: *King Lear* Tour by SPAC (Shizuoka Performing Arts Center) in Fukuoka

【Acting Workshops】

August: Summer theater workshop in Toyama

January: Special workshop by Taizo Sakurai

【Other projects】

March: Goessner conducts workshops at the National Taiwan College of Arts

珍しいキノコ舞踊団 [舞踊/東京]  
Strange Kinoko Dance Co. [dance/Tokyo]

2003年度より  
From 2003



From the premiere of *FLOWER PICKING* at Shiga, August 2003 © Biwako Hall



Chie Ito Photo: David Duval-Smith

主宰: 伊藤千枝 (振付家・ダンサー)  
制作: 大桶 真  
artistic director: Chie Ito (choreographer, dancer)  
producer: Makoto Oooke  
mail@strangekinoko.com  
http://www.strangekinoko.com

■継続助成対象期間

2003年度から2005年度まで

■2003年度の助成内容

年度: 2003年4月1日—2004年3月31日

金額: 3,000,000円

スタジオ提供 (2003年6月から2004年5月までの期間): 36日間

■2003年度の主な活動

【公演活動】

7月: 『ウイズユー 4 for FLOWER PICKING』岡山公演

8月: 『FLOWER PICKING』滋賀公演

3月: 『FLOWER PICKING』東京公演

【その他】

10–11月: 伊藤、フィリップ・ドゥクフレ新作に演出助手として参加

■Grant-receiving term

From 2003 to 2005

■Details on support during fiscal year 2003

Fiscal year: April 1, 2003 – March 31, 2004

Grant: ¥3,000,000

Studio Rental: (between June 2003 till May 2004): 36 days

■Major activities during fiscal year 2003  
[Performances]

July: Performance of *With you 4 for FLOWER PICKING* in Okayama

August: Premiere of *FLOWER PICKING* in Shiga

March: Performance of *FLOWER PICKING* in Tokyo

[Other projects and events]

October – November: Ito participates in a project by French choreographer/director Philippe Decouflé as assistant director



ニブロール [舞踊/東京]  
Nibroll [dance/Tokyo]

2002年度より  
From 2002



A scene from *NO-TO* shown at the Echigo-Tsumari Art Triennial in Niigata, August 2003. Photo: Nobutaka Sato



Mikuni Yanaihara

主宰: 矢内原美邦  
(振付家・ダンサー)

制作: 伊藤剛

artistic director: Mikuni Yanaihara  
(choreographer, dancer)  
producer: Takeshi Ito  
info@nibroll.com  
http://www.nibroll.com/

■継続助成対象期間

2002年度から2004年度まで

■2003年度の助成内容

年度: 2003年4月1日ー2004年3月31日

金額: 3,000,000円

スタジオ提供 (2003年6月から2004年5月までの期間): 22日間

■2003年度の主な活動

【公演活動】

6ー7月: 『コーヒー』トリプルビルツアー デュッセルドルフ、ハーゲン、アムステルダム公演

8月: 『NO-TO』新潟公演 (越後妻有アートトリエンナーレ2003参加)

9ー10月: ビッツバークのダンスカンパニー Attack Theatreとの『ノート』北米ツアー

10月: 『NO-TO』長野公演

11月: 『NO-TO』兵庫公演

2月: 『Dry Flower』新作公演 (ネクストダンスフェスティバル/東京)

【その他】

11月: ニブロール・アバウト・ストリート」春夏コレクションファッションショー&展示会

2月: 『Dry Flower』映像インスタレーション、森美術館「六本木クロッシング」展に出品

■Grant-receiving term

From 2002 to 2004

■Details on support during fiscal year 2003

Fiscal year: April 1, 2003 – March 31, 2004

Grant: ¥3,000,000

Studio Rental: (between June 2003 till May 2004): 22 days

■Major activities during fiscal year 2003  
【Performances】

June – July: *Coffee Triple Bill* Showcase Tour in Düsseldorf, Hagen, and Amsterdam

August: *NO-TO* shown at the Echigo-Tsumari Art Triennial 2003 in Niigata

September – October: *NO-TO* North American tour with the Pittsburgh-based dance company Attack Theatre

October: Performance of *NO-TO* in Nagano

November: Performance of *NO-TO* in Hyogo  
February: Premiere of *Dry Flower* shown at the Next Dance Festival in Tokyo

【Other projects and events】

November: Nibroll About Street (Nibroll's fashion brand) 2004 Spring/Summer Collection show held at Morishita Studio

February: Visual installation of *Dry Flower* shown at the *Roppongi Crossing* exhibition at the Mori Art Museum in Tokyo

**PROJECT FUKUROW** [舞踊/東京]  
**PROJECT FUKUROW** [dance/Tokyo]

**2001年度より**  
**From 2001**



A dancer and a robot share the stage in *KAFKA*, Tokyo, September 2003. Photo: Haruhisa Yamaguchi



Fukurow Ishikawa

主宰: 石川ふくろう  
(振付家・キネティックアーティスト)  
artistic director: Fukurow Ishikawa  
(choreographer, kinetic artist)  
project@fukurow.com  
<http://www.fukurow.com>

■継続助成対象期間

2001年度から2003年度まで

■2003年度の助成内容

年度: 2003年1月1日—12月31日

金額: 3,000,000円

スタジオ提供 (2003年6月から2004年5月までの期間): 15日間

■2003年度の主な活動

【公演活動】

3月: 東京・新国立劇場の「DANCE EXHIBITION 2003」にて『DOROBO 泥棒』上演

9月: 自主制作公演『KAFKA 架蜂架』(東京)

1月: ニューヨークとモントリオールでの「Japan Contemporary Dance Showcase」にて『OZMA 汚不魔』上演

【その他】

5月: プロフェッショナルダンスセンター主催広島公演『生きる』にて映像作品を制作

6月: 森下スタジオにてワークショップ開催、第39回亜細亜現代美術展に石川が出品した彫刻作品が損保ジャパン美術財団奨励賞を受賞

12月: 法政大学における「PERSPECTIVE EMOTION #6 透視的情動」参加

■Grant-receiving term

From 2001 to 2003

■Details on support during fiscal year 2003

Fiscal year: January 1 – December 31, 2002

Grant: ¥3,000,000

Studio Rental: (between June 2003 till May 2004): 15 days

■Major activities during fiscal year 2003  
[Performances]

March: *DOROBO* (Thief) performed at the New National Theatre's Dance Exhibition 2003 in Tokyo

September: Premiere of *KAFKA* in Tokyo

January: *OZMA* performed at the Japan Contemporary Dance Showcase events in New York and in Montreal

[Other projects and events]

April: Ishikawa contributes video work to an event sponsored by the Professional Dance Center in Hiroshima

June: Workshop at Morishita Studio  
Ishikawa receives Sompō Japan Fine Art Foundation Award for Rising Artists for his sculpture shown at the Asia Modern Art Exhibition

December: Ishikawa participates in "PERSPECTIVE EMOTION #6" event at Hosei University in Tokyo

**Study of Live works 発条ト [舞踊/千葉]**  
**Study of Live works BANETO [dance/Chiba]**

**2001年度より**  
**From 2001**



Tsuyoshi Shirai Photo: hachi!

代表: 白井 剛  
(振付家・ダンサー・映像作家)  
制作: 根本山恒平  
artistic director: Tsuyoshi Shirai  
(choreographer, dancer)  
company manager: Kohei  
Negiyama  
baneto@pop02.odn.ne.jp  
<http://baneto.topolog.jp/>



A scene within a work created from the *Living Room Project* in Shiga, June 2003.

■継続助成対象期間

2001年度から2003年度まで

■2003年度の助成内容

年度: 2003年4月1日—2004年3月31日

金額: 3,000,000円

スタジオ提供 (2003年6月から2004年5月までの期間): 38日間

■2003年度の主な活動

4月: 『LIVING ROOM — PROJECT in SAKIRA/RITTO』ワークショップ開催(滋賀)

4—6月: 『LIVING ROOM — PROJECT in SAKIRA/RITTO』滞在制作・公演(滋賀)

6月: 『発条ト・インフォーマルショウイング』にて森下真樹ソロダンス『デビュタント』制作・発表(森下スタジオ)

7月: 『トヨタコレオグラフィアワード2003』に白井剛出品

8月: 世田谷パブリックシアター・小学生の為にダンスワークショップ

10—12月: 森下真樹がJCDN主催『踊りに行くぜ!! Vol.4』松山、福岡、仙台公演に参加

2月: 森下真樹が「横浜ダンスコレクション2004 ソロ×デュオコンペティション」にて(財)横浜市芸術文化振興財団賞受賞

3月: 『発条ト・インフォーマルショウイング』にて栗津裕介ソロパフォーマンス『五重奏』、笹嶋麻由ソロダンス『ツメカミ』、白井剛ソロダンス『Parade』、森下真樹ソロダンス『コシツ』制作・発表

■Grant-receiving term

From 2001 to 2003

■Details on support during fiscal year 2003

Fiscal year: April 1, 2003 – March 31, 2004

Grant: ¥3,000,000

Studio Rental: (between June 2003 till May 2004): 38 days

■Major activities during fiscal year 2003

April: Fifth series of workshops for the *LIVING ROOM PROJECT in Sakira/Ritto* in Shiga  
April – June: Creation and Performance for the *LIVING ROOM PROJECT In Sakira/Ritto*

June: Maki Morishita's solo dance piece *Debutante* produced and performed at an

informal showing at Morishita Studio  
July: Tsuyoshi Shirai presents a dance piece entitled *Impulse and Medium Slow* at the Toyota Choreography Award 2003  
August: Dance workshop for schoolchildren sponsored by Setagaya Public Theatre  
October–December: Maki Morishita participates in “We’re Gonna Go Dancing!! Vol.4” event organized by Japan Contemporary Dance Network in Matsuyama, Fukuoka, and in Sendai  
February: Maki Morishita receives the Yokohama Arts Foundation Award for her dance work *Debutante* at the Yokohama Dance Collection 2004 Solo x Duo Competition  
March: Yusuke Awazu’s *GOJUSOH*, Mayu Sasajima’s *TSUMEKAMI*, Tsuyoshi Shirai’s *Parade*, and Maki Morishita’s *KOSHITSU* produced and performed at an informal showing at Morishita Studio

指輪ホテル [演劇/東京]  
Yubiwa Hotel [theater/Tokyo]

2001年度より  
From 2001



*It's Up To You* at Morishita Studio, October 2003. Photo: Sakiko Nomura



Shirotama Hitsujiya Photo: Masahiko Taniguchi

主宰: 羊屋白玉 (劇作家・演出家・俳優)

制作: 上田 茂

artistic director: Shirotama Hitsujiya (playwright,  
director, and actor)

producer: Shigeru Ueda

reception@yubiwahotel.com

http://www.yubiwahotel.com

■継続助成対象期間

2001年度から2003年度まで

■2002年度の助成内容

年度: 2003年4月1日—2004年3月31日

金額: 3,000,000円

スタジオ提供 (2003年6月から2004年5月までの  
期間): 53日間

■2003年度の主な活動

5月: 『情熱』東京公演

10月: 『It's Up To You アナタシダイ』東京バー  
ジョン上演、およびマニラにおける「アジア女性  
演劇フェスティバル」参加報告会 (森下スタジオ)

3月: 『情熱』群馬レジデンスーおよび公演

■Grant-receiving term

From 2001 to 2003

■Details on support during fiscal year 2003

Fiscal year: April 1, 2003 – March 31, 2004

Grant: ¥3,000,000

Studio Rental: (between June 2003 till May  
2004): 53 days

■Major activities during fiscal year 2003

May: Premiere of *Jyounetsu* (Passion) in Tokyo

October: Performances of *It's Up To You* —

*Tokyo Version* — with a report of the

company's activities at the Asia-Pacific Festival  
— Conference of Women in the Arts in Manila  
at Morishita Studio

March: *Jyounetsu* residency and performance  
project in Gunma



演劇弁当 猫ニャー [演劇/東京]  
Engeki Bento (Theatre-Lunch Box Shop) Neko-Nya [theater/Tokyo]

2001年度より  
From 2001



From *Benshou suru toki me ga hikaru*, Tokyo, April 2003. Photo: Yoichiro Shimazaki



Blue Sky

主宰: ブルースカイ (劇作家・演出家)  
制作: 笠原直樹  
artistic director: Blue Sky  
(playwright, director)  
producer: Naoki Kasahara  
<http://www.neko-nya.net>

■継続助成対象期間

2001年度から2003年度まで

■2003年度の助成内容

年度: 2003年1月1日-12月31日

金額: 3,000,000円

スタジオ提供 (2003年6月から2003年4月までの  
期間): 10日間

■2003年度の主な活動

【公演活動】

5月: 『弁償するとき目が光る』東京、愛知公演

10-11月: 秋の番外公演/演劇『ランナウェイ・  
トゥ・ザ・ビクトリー』十人形劇『木村の親の大冒  
険』(東京)

【その他】

10月および1月: ブルースカイ作・出演ラジオコン  
ト『夕方は別の顔だ』、文化放送にて放送

3月: シリーウォークプロデュース『ウチハソバヤ  
ジャナイ』ブルースカイ脚色/演出

■Grant-receiving term

From 2001 to 2003

■Details on support during fiscal year 2003

Fiscal year: January 1 – December 31, 2003

Grant: ¥3,000,000

Studio Rental: (between June 2003 till May  
2004): 10 days

■Major activities during fiscal year 2003

【Performances】

April: Performances of *Benshou suru toki me ga  
hikaru* (Eyes Glean When You Compensate) in  
Tokyo and in Aichi

October-November: Performances of *Runaway  
to the Victory* with a puppet play *Kimura no  
oya no daibouken* (The Super-Adventures of  
Kimura's Father) in Tokyo

【Other projects】

October & January: Radio comedy drama  
written by Blue Sky aired on JOQR (Nippon  
Cultural Broadcasting Inc.)

March: Blue Sky revises and directs a Silly Walk  
Co., Ltd. production of Kerarino Sandrovich's  
*Uchiwa soba-ya jyanai* (Our House Isn't A  
Noddle Restaurant)

**現代演劇・舞踊助成—芸術創造活動 II**

助成対象4件/助成総額12,000,000円

**Contemporary Theater and Dance — Artistic Creativity  
Enhancement Program II**

4 Grantees/Total appropriations: ¥12,000,000

桃園会 [演劇/大阪]  
Toenkai [theater/Osaka]

**2003年度より  
From 2003**



From the Osaka performance of *Yobu ni wa toi*, June 2003. Photo: Ryuzo Ishikawa



Shigefumi Fukatsu Photo: Ryuzo Ishikawa

主宰：深津篤史(劇作家・演出家)

制作：長谷川一馬

artistic director: Shigefumi Fukatsu (playwright,  
director)

producer: Kazuma Hasegawa

caw75100@pop21.odn.ne.jp

<http://www.geocities.co.jp/Hollywood/5931>

■継続助成対象期間

2003年度から2005年度まで

■2003年度の助成内容

年度：2003年1月1日—12月31日

金額：3,000,000円

■2003年度の主な活動

【公演活動】

4月：ドラマリーディングシアター#2『春のスケッチ』大阪公演

6月：第25回公演『よぶには、とおい』兵庫公演

7月：ドラマリーディングシアター#3『夏のスケッチ』大阪公演

11月：ドラマリーディングシアター#4『秋のスケッチ』大阪公演

12月：第26回公演『深海魚』再演 大阪公演

■Grant-receiving term

From 2003 to 2005

■Details on support during fiscal year 2003

Fiscal year: January 1 – December 31, 2003

Grant: ¥3,000,000

■Major activities during fiscal year 2003

[Performances]

April: Drama reading theater #2 *Spring Sketch* in Osaka

June: *Yobu ni wa toi* (Too Far to Call) premiered in Osaka

July: Drama reading theater #3 *Summer Sketch* in Osaka

November: Drama reading theater #4 *Autumn Sketch*

December: Repeat performance of *Shinkaigyo* (The Deep-sea Fish) in Osaka

Dance Theatre LUDENS [舞踊/東京]

Dance Theatre LUDENS [dance/Tokyo]

2003年度より

From 2003



Takiko Iwabuchi  
Photo: Yoichi Tsukada

主宰: 岩淵多喜子

(振付家・ダンサー)

制作: 菊丸喜美子

artistic director: Takiko Iwabuchi

(choreographer, dancer)

producer: Kimiko Kikumaru

can@contemporary-art-

network.com

[http://members.tripod.co.jp/](http://members.tripod.co.jp/ludens/)

ludens/



A scene from the premiere of *Against Newton II*, February 2004 Photo: Naoya Ikegami

#### ■継続助成対象期間

2003年度から2005年度まで

#### ■2003年度の助成内容

年度: 2003年4月1日—2004年3月31日

金額: 3,000,000円

スタジオ提供 (2003年6月から2005年5月までの期間): 73日間

#### ■2003年度の主な活動

##### 【公演活動】

10月: JCDN主催『踊りに行くぜ!! Vol.4』の一環で『Be—duo version—』を愛媛と北海道で上演

1月: ランコントロール・コレグラフィック・アンテルナショナル・ドウ・セヌ・サン・ドニ横浜プラットフォーム (旧パニョレ国際振付賞) に参加し『Be (完成版)』を上演

2月: 『Against Newton II』東京公演

##### 【ワークショップ】

5月: 森下スタジオにて開催

7月: 富山県民小劇場主催ワークショップ

7-8月: 森下スタジオにて夏季ワークショップ開催

8月: 日本女子体育大学主催ワークショップ

9月: 森下スタジオにて3日間集中ワークショップ開催、クリエイティブ・アート実行委員会主催ワークショップ

10月: 北海道ワークショップ開催

11月: 森下スタジオにて3日間集中ワークショップ開催

12月: 森下スタジオにて2日間集中ワークショップ開催

#### ■Grant-receiving term

From 2003 to 2005

#### ■Details on support during fiscal year 2003

Fiscal year: April 1, 2003–March 31, 2004

Grant: ¥3,000,000

Studio Rental: (between June 2003 till May 2004): 73 days

#### ■Major activities during fiscal year 2003

##### 【Performances】

October: Performances of *Be—duo version—* shown at “We’re Gonna Go Dancing!! Vol.4” organized by Japan Contemporary Dance Network in Ehime and in Hokkaido.

January: *Be—complete version—* shown at the Rencontre Choréographiques Internationals de Seine-Saint-Denis Yokohama Platform 2004  
February: Premiere of *Against Newton II* in Tokyo

##### 【Workshops】

May: Workshop at Morishita Studio

July: Workshops organized by Toyama Kenmin Shogekijo

July – August: Summer Workshops at Morishita Studio

August: Workshops organized by Japan

Women’s College of Physical Education

September: Three-day intensive workshop at

Morishita Studio; workshops organized by

Creative Art Executive Committee

October: Workshops in Hokkaido

November: Three-day intensive workshop at Morishita Studio

December: Two-day intensive workshop at Morishita Studio

イデビアン・クルー／特定非営利活動法人days [舞踊／東京]  
Idevian Crew /days [dance/Tokyo]

2003年度より  
From 2003



From the premiere of *Unreasonable Mme Belle*, Tokyo, September 2003. Photo: Toyohiro Hasegawa



Shigehiro Ide Photo: Tsukasa Aoi

主宰：井手茂太 (振付家)

制作：坪井香保里

artistic director: Shigehiro Ide (choreographer)

producer: Kahori Tsuboi

days@idevian.com

<http://www.idevian.com>

■継続助成対象期間

2003年度から2005年度まで

■2003年度の助成内容

年度：2003年4月1日－2004年3月31日

金額：3,000,000円

スタジオ提供 (2003年6月から2005年5月までの期間)：19日間

■2003年度の主な活動

【公演活動】

8月：東京・旧千川小学校校庭にて『理不尽ベル』

ミニ・パフォーマンス開催

9月：新作『理不尽ベル』東京公演

12月：『くるみ割り人形』山口、福岡

1月：ニューヨークとモントリオールでの「Japan Contemporary Dance Showcase」にて『理不尽ベル Showcase Version』を上演

3月：特別企画『ヒメゴとアジト』東京公演

【その他】

6月：『めんそーれ沖縄 なんくる狂想曲』(加藤直演出)への井手による振付

3月：市民参加作品『ら抜き』の井手による振付・演出、井手による「俳優のためのダンスワークショップ」開催

■Grant-receiving term

From 2003 to 2005

■Details on support during fiscal year 2003

Fiscal year: April 1, 2003 – March 31, 2004

Grant: ¥3,000,000

Studio Rental: (between June 2003 till May 2004): 19 days

■Major activities during fiscal year 2003

【Performances】

August: Mini performance of *Unreasonable Mme Belle* in Tokyo

September: Premiere of *Unreasonable Mme Belle* in Tokyo

December: Performances of *The Nutcracker* in Yamaguchi and in Fukuoka

January: *Unreasonable Mme Belle — Showcase Version* — performed at the Japan Contemporary Dance Showcase events in New York and in Montreal

March: *Himego to Ajito* premiered in Tokyo

【Other projects and events】

June: Ide choreographs the dance sequence of a play entitled *Mensorre Okinawa — Nankuru kyosoukyoku* (Welcome to Okinawa — The One Way or Another Rhapsody) directed by Tadashi Kato

March: Ide choreographs and directs *La Nuki* (Civic Participation Project); conducts dance workshop for actors & actresses



MONO [演劇/京都]  
MONO [theater/Kyoto]

2002年度より  
From 2002



A scene during the Kyoto performance of *Kyoto jyuikku*, August 2003. Photo: Masahiko Yakoh



Hideo Tsuchida

主宰：土田英生

(劇作家・演出家・俳優)

制作：垣脇純子

artistic director: Hideo Tsuchida  
(playwright, director, actor)  
producer: Junko Kakiwaki  
info@c-mono.com  
http://www.c-mono.com

■継続助成対象期間

2002年度から2004年度まで

■2003年度の助成内容

年度：2003年4月1日—2004年3月31日

金額：3,000,000円

■2003年度の主な活動

【公演活動】

3-4月：特別企画vol. 2『チェーホフは笑いを教えてくれる』京都公演

8-9月：第31回公演『京都11区』京都、兵庫、東京、愛知、福岡、大分公演

12月：特別企画vol. 3『退屈への扉』京都公演

3月：羊団『石なんか投げないで』大阪、東京公演

【その他】

9月：土田英生、文化庁新進芸術家留学制度の研修員としてロンドンでの一年間滞在開始

2月：土田英生作『その鉄塔に男たちはいるという』のカナダでのリーディング実施

■Grant-receiving term

From 2002 to 2004

■Details on support during fiscal year 2003

Fiscal year: April 1, 2003 – March 31, 2004

Grant: ¥3,000,000

■Major activities during fiscal year 2003

【Performances】

March-April: Special Project Vol.2 *Chekhov wa warai wo oshiete kureru* (The Humor in Chekhov's Works) staged in Kyoto

August – September: *Kyoto jyuikku* (Kyoto 11th District) tour of Kyoto, Hyogo, Tokyo, Aichi, Fukuoka, and Oita

December: Special Project Vol.3 *Taikutsu e no tobira* (The Door to Boredom) staged in Kyoto

March: Premiere of *Ishi nanka nage naide* (Don't Throw Stones At Me) in Osaka and in Tokyo by Hitsujidan, a unit formed by the members of MONO

【Other projects and events】

September: Tsuchida's one-year residency in London as a fellow under the Japanese Government Overseas Study Program for Artists Program begins

February: Drama reading sessions of *The Happy Lads*, written by Hideo Tsuchida, held in Canada

### 特別助成(国内)【非公募】

助成対象1件/助成総額500,000円

詩人・草野心平(1903～1988)の生誕100周年を記念して、氏の日記110冊を7巻にわたって刊行する**草野心平日記刊行会**に対して助成を行った。日記は1942年から1986年まで氏が日々書き続けた未発表のもので、日々の生活について綴った文章や、パリやボンベイ(ムンバイ)、ホノルルや国内などの紀行を含む。日本の文学史にとって貴重な資料となるであろう同日記の刊行は、2004年5月の第1回配本の第2巻から開始され、一年後に完了する予定。

草野心平日記刊行会

草野心平日記 全7巻刊行

2003年4月1日～2004年3月31日

東京

500,000円

### Special Project Support Grant Program (national) [designated fund program]

1 Grantee/Total appropriation: ¥500,000

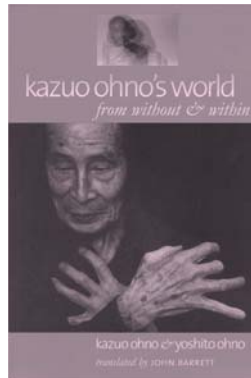
A grant was awarded to the **Shimpei Kusano Diary Publishing Society**, an organization dedicated to publishing the 110 diaries of Shimpei Kusano (1903-1988) in seven volumes within a year starting from May 2004 to celebrate the centennial of the poet's birth. The diaries collected in this series, which have never been released before, were written from 1942 to 1986 and include notes on his everyday life as well as his travels within Japan and to Paris, Mumbai (Bombay), and Honolulu.

Shimpei Kusano Diary Publishing Society  
Publishing of *Shimpei Kusano's Diaries* of  
Seven Volumes

April 1, 2003 – March 31, 2004

Tokyo

¥500,000



Cover of *Kazuo Ohno's World: from without and within*, published by Wesleyan University Press of Connecticut in 2004.



Pamphlet of the symposium held during Laokoon Summer Festival 2003.



From the drama reading session of *Mimizui/Night Crawlers*, written by Rinko-gun's Yoji Sakate in Baton Rouge, Louisiana, March 2004.

## 国際交流プログラム International Programs

### 1. 知的交流プログラム Intellectual Exchange Programs

#### 現代演劇・舞踊助成—知的交流活動

助成対象3件/助成総額3,300,000円

国際会議・シンポジウムの開催、翻訳出版などを通して日本の現代演劇・舞踊芸術の国際化を促進する事業に対して助成をする本プログラムでは、今年度3件の事業に対して助成した。

昨年に引き続き助成をしたドイツ・ハンブルクでの国際演劇祭 **Laokoon Summer Festival 2003** でのシンポジウム『帝国批判としてのサイボーグたちと演劇』は、8ヶ国から9人の批評家、研究者、学者たちにより4日間にわたり実施された。今回は、レバノン、イラク等中東世界と繋がりのある参加者が多く、いわゆる西欧的知性とは異なる批評家と日本の研究者/批評家が出会い議論が開始された意味は大きい。2002年度から継続して「グローバリゼーション（帝国）」を議論することで浮上してきた別の「ナショナリズム」の問題について次年度も継続して開催される予定だ。

国際交流活動にも積極的な **燐光群** による『みみず』（坂手洋二作）ドラマリーディングは、米国でのリーディングを翻訳作業の一環としてとらえ、米国の俳優が台詞を発話することにより翻訳の完成度をあげるプロジェクトで、日米双方に翻訳者をたて作業はすすめられた。最終的にはルイジアナ州立大学で翻訳者でもあるリアン・イングルスルド演出によりリーディングが実施された。

Wesleyan University Press 刊行の *Kazuo Ohno's World: from without and within* は、『大野一雄 稽古の言葉』と『大野

一雄 魂の糧』の英語翻訳である。本書籍の出版により、海外での舞踊研究がさらにすすむことを期待したい。

Wesleyan University Press  
*Kazuo Ohno's World: from without and within*

2003年4月1日—2004年6月15日

ミドルタウン

1,000,000円

Laokoon Summer Festival 2003  
ラオコオン・フェスティバル2003でのシンポジウム『帝国批判としてのサイボーグたちと演劇』

2003年8月28日—9月14日

ハンブルク（カンブナーゲルP1スタジオ）

1,500,000円

燐光群/(有)グッドフェローズ

『みみず』ドラマ・リーディング

2004年3月24日

バトンルーージュ（ルイジアナ州立大学レイリー劇場）

800,000円

#### Contemporary Theater and Dance — Intellectual Exchange Program

3 Grantees/Total appropriations: ¥3,300,000

The aim of this program is to improve the visibility of contemporary Japanese theater and dance within the world's performing arts community by supporting international conferences, symposia, and translation and publication projects related to the above two fields of performing arts. In 2003, the program supported three projects that took place outside of Japan.

One project was a symposium that was held in part of the **Laokoon Summer Festival 2003** at the Kampnagel arts center in Hamburg entitled *Cyborgs and Theater*

*Against the Empire*, which was conceived by the festival's first artistic director from Japan, Hidenaga Otori. The four-day symposium by nine critics, researchers, and scholars from eight countries, including members originally from Middle Eastern nations such as Lebanon and Iraq, and also from Japan, offered a unique opportunity to all who were involved in it. Another symposium on the issue of globalization — the theme that has been the core of this series since the first symposium in 2002 — will be held during the festival in 2004.

A drama translation project by **Theater Company Rinko-gun** also received a grant under this program. In order to bring the translated script to perfection, translators from both Japan and the U.S. were involved in creating the English text of *Mimizu/Night Crawlers*, a play written by the company's playwright and artistic director, Yoji Sakate, and a drama reading session in the U.S. by American actors was also planned as a crucial step to complete the translation process. The reading session took place in March 2004 at Louisiana State University in Baton Rouge, and was directed by Leon Ingulsrud, associate artistic director of LSU's Swine Palace Productions, who was also the co-translator of the play.

The third project that was awarded a grant was the translation and publishing of a book entitled *Kazuo Ohno's World: from without and within* by **Wesleyan University Press** of Connecticut, which includes two works on the famed butoh artist: *Workshop Words*, which is a collection of Ohno's words told to his students during workshops, and *Food for the Soul*, an interview with his son Yoshito. With the publishing of this book, which is the first of this kind in English on Ohno and his insights, we hope that research and studies on butoh will proceed further on an international scale.

Laokoon Summer Festival, Kampnagel  
Symposium at the Laokoon Summer  
Festival 2003: *Cyborgs and Theater Against the Empire*

August 28 – September 14, 2003

Hamburg (P1 Studio at Kampnagel)

¥1,500,000

Theater Company Rinko-gun/Good Fellows.  
Inc.  
Drama Reading of *Mimizu/Night Crawlers*  
March 24, 2004  
Baton Rouge (The Reilly Theater at Louisiana  
State University)  
¥800,000

Wesleyan University Press  
*Kazuo Ohno's World: from without and  
within*  
April 1, 2003 – June 15, 2004  
Middletown, Connecticut  
¥1,000,000

#### 翻訳出版助成【非公募】

助成対象2件/助成総額5,500,000円

日本の社会科学および人文科学などに  
関する文献を海外に継続的に紹介する活動  
を支援する本プログラムではドイツと中国  
での翻訳出版事業に助成が行われた。

ミュンヘンに拠点を置く出版社ユディツ  
ウム社 (iudicium Verlag GmbH) は、当  
財団の助成を受けて1999年度より5年間に  
わたって日本の社会科学、人文科学の著作  
をドイツ語に翻訳し、シリーズとして出版し  
ている。最終年度にあたる2003年度には中  
村雄二郎著『共通感覚論』が2002年度の助  
成を充当して刊行された。この他に同年度  
の助成を充てて阿満利磨著『日本人はなぜ  
無宗教なのか』が2004年度中に刊行される

予定である。また2003年度の助成は2004  
年から2005年の間にかけて刊行される作品  
の翻訳・出版に充てられる。

日本の現代詩を中国に紹介する目的で  
2000年度から始まった日中現代詩交流プロ  
グラムでは、日本の詩人55名による200以  
上の作品を収録するアンソロジー『日本当代  
詩選』の翻訳が完成し、2003年12月に北京  
の作家出版社から刊行された。

iudicium Verlag GmbH

日本の精神文化に関する著書2冊を独語への翻  
訳出版

2003年1月1日–12月31日

ミュンヘン

2,500,000円

日中現代詩交流プログラム事務局

日中現代詩交流プログラム

2003年4月1日–2004年3月31日

北京、東京

3,000,000円

#### Translation/Publication Project Program [designated fund program]

2 Grantees/Total appropriations: ¥5,500,000

Translation and publication projects that  
took place in Germany and in China were  
awarded grants in 2003 under this program,  
which provides financial assistance to  
multi-year projects aimed to introduce Japa-

nese social science and humanities to other  
nations.

iudicium Verlag GmbH, a publishing  
company based in Munich, is carrying out  
a five-year series to translate and publish  
works of social science and humanities  
by Japanese authors since 1999 with the  
support from the Saison Foundation. In  
the fifth and final year of the series, Yujiro  
Nakamura's *Sensus communis* and Toshi-  
maro Ama's *Why Are the Japanese Non-  
Religious?* were published with grants made  
by the Saison Foundation in 2002. The grant  
given to this publisher in 2003 will be appro-  
priated to translation/publishing projects  
that will be concluded in 2004 or 2005.

In the **Sino-Japanese Contemporary  
Poetry Exchange Program**, which started  
in 2000 with the aim to present contem-  
porary Japanese poetry to readers in China,  
the translation of an anthology including  
more than 200 works by fifty-five Japanese  
poets was completed and published by The  
Writers Publishing House of Beijing in De-  
cember 2003.

iudicium Verlag GmbH

Translation and publication of two books  
on Japanese ethos into German

January 1 – December 31, 2003

Munich

¥2,500,000

Sino-Japanese Contemporary Poetry  
Exchange Program

Sino-Japanese Contemporary Poetry  
Exchange Program

April 1, 2003 – March 31, 2004

Beijing, Tokyo

¥3,000,000



Covers of books by Yujiro Nakamura (left) and Toshimaro Ama (right) published by iudicium Verlag GmbH of Munich.

Cover of the anthology of contemporary Japanese poems published by The Writers Publishing House of Beijing in 2003.



## 2. 芸術交流 Artistic Exchange Programs

### 現代演劇・舞踊助成 ― 芸術交流活動I: プロジェクト支援 助成対象5件

このプログラムでは、国際間での相互理解を推進する日本の現代演劇・舞踊の海外公演、招聘受け入れ公演、国際共同創造事業に対して、森下スタジオの貸与を行っている。

海外公演のための稽古に使用した**丹野賢一/NUMBERING MACHINE**は、一ヶ月にわたる三度目の欧州五カ国ツアーを、今回は東欧を中心に実施した。東欧での公演の成立には西欧や米国での公演に比してより深刻な経済的な問題がつきまとうが、全公演はほぼ満席の盛況で、訪問の度に反響が大きくなっていることを実感しているという。

今年度初めて助成対象となった**シアターアンネフォール**は日本において複数の人種によって構成されるカンパニーを目指しており、主宰のキタムアラタは、プラハ、モスクワ、ニューヨークで研修を重ねた演出家である。課題は多々抱えているようだが、若手ながら国際的な視野を持つカンパニーとして

今後の展開が注目される。

ニューヨークから来日し、国際共同プロジェクト『10,000 Steps』に取り組む**The School of Hard Knocks, Inc.**は、東京で初期段階の創作・リハーサルの後、7月に一般市民参加のワークショップやレジデンシーを経て作品発表をするプロジェクトで東京、岡山、新潟、岩手の四ヶ所、延べ260人以上の参加者を巻き込んで実施された。森下スタジオで行われたワークショップでは途中経過の作品を上演し、観客からのフィードバックを作品の発展のために活かすことを目的にしたデモンストレーション・プレゼンテーションも実施された。本プロジェクトは3ヶ年計画のもので、2004年度も日本各地を訪れ地域と交流をすすめ、作品をさらに発展させる計画だ。

### ■海外公演

**丹野賢一/NUMBERING MACHINE**  
**丹野賢一/NUMBERING MACHINE欧州ツアー2003**  
2003年9月27日ー10月27日  
ウィーン、カウナス、ベルン、ブダペスト、プラハ  
(ディテアター・クンストラハウス、応用美術館、

カウナス・アカデミック・ドラマ・シアター、ダッハシュトック・ライトシュレ・ベルン、MUーシアター、煉瓦工場跡地)  
スタジオ提供11日間

### ■共同創造活動

(株)アンクリエイティブ  
ダンスセクション 2003  
2003年10月21日ー10月26日  
東京(東京芸術劇場小ホール1)  
スタジオ提供30日間

特定非営利活動法人シアターアンネフォール  
『HN ヘナは宇宙人を愛してから5年間生理が来ない!』  
2003年9月4日ー9月15日  
東京、京都(スパイラルホール、アートコンプレックス1928)  
スタジオ提供28日間

**The School of Hard Knocks, Inc**  
**10,000 Steps**  
2003年7月1日ー2004年4月11日  
東京、岡山、新潟、岩手(森下スタジオ、御園旅館、越後妻有トリエンナーレ他)  
スタジオ提供14日間

**パパ・タラフマラ**  
ストリート・オブ・クロコダイル計画1&2  
2003年7月1日ー2004年2月29日  
東京(SCAI THE BATH HOUSE、スパイラルホール)  
スタジオ提供60日間



A scene from Théâtre Années Folles' *Henna Has Not Menstruated For Five Years Since Loved By A Spaceman!*, Tokyo, September 2003.



Pappa Tarahumara's *Street of Crocodiles* in Tokyo.  
Photo: Sakae Oguma

## Contemporary Theater and Dance — Creative Exchange Program (Studio Award)

5 Grantees

This program awards priority use of the rehearsal facilities at Morishita Studio to projects aimed to promote mutual understanding between Japan and other cultures, such as international tours by contemporary Japanese theater and dance companies, performances in Japan by foreign performing artists, and to international collaboration projects.

In his third visit to Europe, **Tanno Ken'ichi/Numbering Machine** conducted a month-long tour of five nations, including Lithuania, Hungary, and the Czech Republic. Compared to tours in the U.S. or in Western Europe, performances in countries that do not have abundant funds for inviting artists from abroad may become a serious burden for the invited artist; yet Tanno accepted their requests, and was rewarded with sold-out shows, and his reputation has been spreading constantly after each tour.

A newcomer to our programs, **Théâtre Annees Folles** is a multicultural theater company led by artistic director Arata Kitamura, who has studied and worked in Prague, Moscow, and in New York. Although the young company may still have some issues that need to be worked out, its stance of having an international/multicultural perspective is promising.

**The School of Hard Knocks, Inc.** of New York, which conducted an international collaboration project entitled *10,000 Steps*, held creation workshops and rehearsals in Tokyo that were followed by workshops open to the public and residencies in July 2003 in Tokyo, Okayama, Niigata, and Iwate, in which a total of more than 260 people participated. A work-in-progress event was held during their workshop period at Morishita Studio, which was an opportunity to receive feedback from the audience that was reflected in the piece. This three-year project will take place again in 2004 in a number of cities in Japan.

## ■Touring Projects

**TANNO KEN'ICHI/ NUMBERING MACHINE**  
Tanno Ken'ichi/Numbering Machine  
European Tour 2003

September 27 – October 27, 2003

Vienna, Kaunas, Bern, Budapest, Prague  
(Dietheater Kunsterhaus, Museum fur  
Angewandte Kunst, Kaunas Academic Drama  
Theatre, Dachstock Reitschule Bern, MU-  
Theater, Grounds of Former Brickworks)  
Studio Rental: 11 days

## ■International Collaboration Projects

**AN Creative Inc.**  
Dance Selection 2003

October 21 – October 26, 2004

Tokyo (Tokyo Metropolitan Art Space)  
Studio Rental: 30 days

**Pappa TARAHUMARA**  
Street of Crocodiles Project 1&2

July 1, 2003 – February 29, 2004

Tokyo (SCAI THE BATH HOUSE, Spiral Hall)  
Studio Rental: 60 days

**The School of Hard Knocks, Inc**  
*10,000 Steps*

July 1, 2003 – April 11, 2004

Tokyo, Okayama, Niigata, Iwate (Morishita  
Studio, Misono Ryokan, Echigo Tsumaari  
Triennial, etc.)

Studio Rental: 14 days

**Theatre Annees Folles NPO**  
*Henna Has Not Menstruated for Five Years*  
*Since Loved By A Spaceman!*

September 4 – September 15, 2003

Tokyo, Kyoto (Spiral Hall, Art Complex 1928)  
Studio Rental: 28 days

## 現代演劇・舞踊助成—芸術交流活動II: 継続プロジェクト支援

助成対象1件/助成総額3,000,000円

2001年度から開始された本プログラムでは、国際交流の推進に中心的な役割を果たしている中堅カンパニーに3年にわたって助成金が支給され、さらに森下スタジオ使用の優先権が付与される。

本年度は、初年度より対象となっている株式会社ティーファクトリー（第三エロチカ）に対し、最終年度の助成が行われた。

川村毅率いるティーファクトリーではこの3年間、シェイクスピアの『ハムレット』をベースにしつつ、ハイナー・ミュラーの『ハムレットマシーン』の手法にインスパイアされた川

村の作品『ハムレットクローン』を海外に紹介し、充実させてゆく活動に取り組んだ。最終年度の2003年には、過去2年間日本のみならずオーストラリアやフランスで実施されたワークショップとリーディングをへて研磨された同作品を、ハンブルクをはじめとするドイツの4都市で上演し、その結果、他の国や都市からも『ハムレットクローン』の公演依頼の打診を受けるようになった。このように時間をかけてひとつの作品を磨き、熟成させ、そして上演してゆくという方法は、ティーファクトリーにとって有意義だっただけでなく、現在の日本の演劇界に対する重要な提言にもなり得るだろう。

## Contemporary Theater and Dance — Creative Exchange Program — For Long-Term Projects

1 Grantee/Total appropriation: ¥3,000,000

This program, which began in 2001, awards grants and priority use of Morishita Studio for three consecutive years to experienced Japanese performing artists/companies who are expected to play an important role in the field of international exchange.

**T factory** (Daisan Erotica), which was the first grant recipient under this program, completed its final year in 2003.

During the three years when our foundation supported the company led by playwright, director, and actor Takeshi Kawamura, T factory pursued international projects related to Kawamura's *Hamlet Clone* — a play based on Shakespeare's *Hamlet* and inspired by the approach used in Heiner Müller's *Hamlet Machine*. Following the workshops and reading sessions that were held in Australia and France during the past couple of years, which were valuable opportunities to polish the play, the company launched a successful tour of four cities in Germany in their final year as a grantee of this program, and which led to invitations from other nations and cities. This is in fact a perfect model case that proposes many crucial issues to the Japanese theater community: a long-term project that allowed the artist and the members of his group to take time to refine one particular work of theirs, to bring in various perspectives, and to let it mature before staging it.



A scene from *Hamlet Clone* during the company's tour of Germany, September 2003. Photo: MIYAUCHI Katsu



Takeshi Kawamura Photo: Naomi Kawakami

主宰：川村 毅(劇作家・演出家・俳優)  
制作：平井佳子

artistic director: Takeshi Kawamura (playwright,  
director, and actor)  
producer: Yoshiko Hirai  
t\_factory@syd.odn.ne.jp  
[http://www1.odn.ne.jp/info/t\\_factory/](http://www1.odn.ne.jp/info/t_factory/)

#### ■継続助成対象期間

2001年度から2003年度まで

#### ■2003年度の助成内容

年度：2003年3月1日～2004年2月28日

金額：3,000,000円

スタジオ提供(2003年6月から2004年5月までの期間)：45日間

#### ■2003年度の主な国際交流活動

『ハムレットクローン』プロジェクト

6～7月：森下スタジオにてワークショップ、リハーサルのと『ハムレットクローン』ドイツツアー公演(6月28日～7月6日)を実施

9月：森下スタジオにてリハーサルの後、ドイツツアー実施(9月12日～14日ハンブルク/カンブナーゲル・ラオコオンサマーフェスティバル、9月17日ビーレフェルト/360°C 国際演劇祭、9月21日ハーレ/ターリア劇場主催・ホテルノイシュタット国際演劇祭、9月23日ズールにて上演)

#### ■Grant-receiving term

From 2001 to 2003

#### ■Details on support during fiscal year 2003

Fiscal year: March 1, 2003–February 28, 2004

Grant: ¥3,000,000

Studio Rental: (between June 2003 till May 2004): 45 days

#### ■Major activities during fiscal year 2003 [Hamlet Clone Project]

June – July: Workshop, rehearsal and pre-German tour performance (6/28-7/6) of *Hamlet Clone* at Morishita Studio

September: Rehearsal at Morishita Studio, Tour of Germany (Sept. 12-14: Laokoon Summer Festival, Kampnagel, Hamburg; Sept. 17: 360° Int'l Theater Festival, Bielefeld; Sept. 21: Hotel Neustadt International Theater Festival [organized by Thalia Theater Halle], Halle; Sept. 23: Suhl)

### 芸術交流活動【非公募】

助成対象1件／助成総額7,000,000円

本プログラムでは、海外の非営利団体との継続的なパートナーシップによる日本文化の紹介事業や文化交流活動を支援する。

ニューヨークに本部を置く**アジア・カルチュラル・カウンシル (ACC)** が日米の芸術家、学者、専門家、機関のために行っている相互的フェロシッププログラム「日米芸術交流プログラム」に対してセゾン文化財団は1989年度より毎年支援を行っている。2003年度には、当財団からの前年度の助成金が充当されて、振付家・ダンサーの室伏鴻と、ビジュアルアーティストの田中功起の2名による渡米・研修事業が実施された。なお、2003年度の助成金は、同交流プログラムの2004年度の助成対象に選ばれた日本の芸術家や専門家の訪米費用に充当される。

#### アジア・カルチュラル・カウンシル

##### 日米芸術交流プログラム

2004年1月1日－12月31日（2004年度の活動に充当）

アメリカ、日本  
7,000,000円

### Artistic Exchange Project Program

[designated fund program]

1 Grantee/Total appropriation: ¥7,000,000

This program awards grants to projects by non-profit organizations outside of Japan with a firm continuing relationship with the Saison Foundation that are devoted to introduce Japanese culture within their societies.

The Saison Foundation has supported the Japan-United States Arts Program of the **Asian Cultural Council (ACC)** each year since 1989. In 2003, the grant awarded by the Saison Foundation in 2002 was appropriated to the travels and visits to the U.S. by choreographer and dancer Ko Murobushi and visual artist Koki Tanaka. The grant from the foundation made in 2003 will be appropriated to the travel expenses of Japanese artists and specialists to visit the U.S. as grant recipients of the ACC's interactive fellowship program in 2004.

#### Asian Cultural Council

##### ACC Japan-United States Arts Program Fellowships

January 1 – December 31, 2004 (for activities taking place during 2004)  
U.S., Japan  
¥7,000,000

### ■森下スタジオのその他の利用者

(2003年6月1日－2004年5月31日)

| 利用団体名           | 利用日数 |
|-----------------|------|
| 伊藤キム十輝く未来       | 5    |
| 池内美奈子           | 11   |
| 演劇企画集団THE・ガジラ   | 26   |
| ク・ナウカ シアターカンパニー | 6    |
| K・ダンスオフィス       | 5    |
| サルヴァニア          | 1    |
| せたがや文化財団        | 4    |
| パパ・タラフマラ        | 5    |
| パフォーマンスシアター 水と油 | 2    |
| ピープルシアター        | 2    |

### ■Other users of Morishita Studio

(June 1, 2003- May 31, 2004)

| User name                         | number of days |
|-----------------------------------|----------------|
| Minako Ikeuchi                    | 11             |
| K Dance Office                    | 5              |
| Kim Itoh + The Glorious Future    | 5              |
| Ku Na'uka Theatre Company         | 6              |
| Pappa Tarahumara                  | 5              |
| People Theater                    | 2              |
| Performance Theatre Mizu-To-Abura | 2              |
| Sal Vanilla                       | 1              |
| Setagaya Arts Foundation          | 4              |
| Theater Project Team The Gazira   | 26             |



## 1. 自主製作事業 Sponsorship Program

### ニュースレター『viewpoint』の刊行

セゾン文化財団のニュースレター『viewpoint』では、研究助成や海外留学、レジデンシーの成果など、当財団の助成・共催事業に関連した論考、レポートを幅広く掲載している。発行部数は毎号1200部。芸術団体、自治体、助成財団、マスコミ、大学、シンクタンク、研究者などに無料配布している。地域における舞台芸術の振興、海外でのアーツマネジメント留学・研修、国際交流事業の成果や森下スタジオで実施された事業など、当財団の助成・共催事業に関連した論考、レポートを幅広く掲載。

#### 第25号 (2003年5月発行)

- 「舞踊」雑考 (H・アール・カオス 1997-2002)  
大島早紀子 (H・アール・カオス主宰・演出・振付家)
- 「地域」を越えた舞台芸術の創造——岡山舞台芸術ゼミナールの活動と展望  
大森誠一 (おかやまアートファーム代表・プロデューサー)
- ダンスの潮流を学ぶ——京都国際ダンスワークショップ・フェスティバル“京都の暑い夏”  
森 裕子 (京都の暑い夏事務局代表)

#### 第26号 (2003年8月発行)

- ロンドンへの道・前編  
野田秀樹 (劇作家・演出家・俳優)
- 新たな寓話の創出——『RED DEMON』ロンドン公演を観て  
キャサリン・ハンター (女優・演出家)
- 小劇場におけるロングラン公演への挑戦  
小原啓渡 (アートコンプレックス1928プロデューサー)
- 森下スタジオにおける活動報告  
◇ロベルト・ラモス＝ペレア来日記念  
演劇ワークショップとレクチャー「プエルトリコの現代演劇と社会」  
◇ティーファクトリー『ハムレットクローン』  
[現在][東京][ハムレット] 2003年度版  
ドイツツアー プレ東京公演  
◇The School of Hard Knocks Japan  
le [家] 10,000のステップで綴る記憶『動く彫刻』  
リバース・サイコロジー・プロジェクト2003年—2005年日本公演  
ワークインプログレス&ディスカッション

#### 第27号 (2003年12月発行)

- プエルトリコの新しい演劇  
ロベルト・ラモス＝ペレア (劇作家・俳優・演出家・演劇ジャーナリスト・批評家)
- ロンドンへの道・中編  
野田秀樹 (劇作家・演出家・俳優)
- 誰にでもオープンな英国のアートセンター——  
チャプター・アートセンターでの研修を終えて  
秦 岳志 (劇団解体社制作)
- 森下スタジオにおける活動報告  
◇スタッフ塾 in 森下スタジオ PART 2  
レクチャーワークショップ、創作ワークショップ、公開パフォーマンス

#### 第28号 (2004年3月発行)

- 転換期にある関西小劇場——大阪現代舞台芸術協会を通して我々に何が出来るか  
深津篤史 (桃園会主宰・劇作家・演出家)
- 指輪ホテル細腕繁盛記 (2001-2003)  
羊屋白玉 (指輪ホテル主宰・劇作家・演出家・俳優)
- リビングルーム さくら——栗東における『Living Room Project』の取り組み  
白井 剛 (Study of Live works発条ト代表・振付家・ダンサー・映像作家)
- 森下スタジオにおける活動報告  
◇セゾンシアタープログラム パークタワー・ネクストダンス・フェスティバル・ブレイヴェント  
ネクスト・ネクスト4 および Just before the performance!

### Publishing of viewpoint

The Saison Foundation's newsletter *viewpoint* carries a wide range of reports and essays, including the results of the Foundation's research grants and the outcome of projects supported by the Foundation. Twelve hundred copies are published for each issue, which are circulated free of charge to art organizations, local governments, foundations, the press, universities, think tanks, researchers, etc.

#### Issue No. 25 (May 2003)

- *Reflections on Dance*  
by Sakiko Oshima, Director, Choreographer, and Artistic Director of H Art Chaos
- *Creation of the Performing Arts Beyond the "Regional" Framework*  
by Sei'ichi Omori, Producer, Okayama Art-farm
- *Learning the Currents of Dance*



The Saison Foundation's newsletter *viewpoint*

by Yuko Mori, Director, Hot Summer in Kyoto Office

#### Issue No. 26 (August 2003)

- *The Path to London — Part One*  
by Hideki Noda, Playwright, Director, and Actor
- *The Birth of A New Parable — About the London Production of Red Demon*  
by Kathryn Hunter, Actress and Director
- *The Challenge to Realize Long-run Performances at a Small Theater*  
by Keito Kohara, Producer, Art Complex 1928
- scenes from Morishita Studio: report on the theater workshops and lectures by Roberto Ramos-Perea; T factory's performances of *Hamlet Clone*; The School of Hard Knocks, Inc.'s work-in-progress event for *le — 10,000 Steps*

#### Issue No. 27 (December 2003)

- *The New Theater in Puerto Rico*  
by Roberto Ramos-Perea, Playwright, Actor, Director, Theater Journalist, and Critic
- *The Path to London — Part Two*  
by Hideki Noda, Playwright, Director, Actor
- *Arts Centres For Everyone — My Internship at the Chapter Arts Centre*  
by Takeshi Hata, Company Manager, Gekidan Kaitaisha

#### Issue No. 28 (March 2004)

- *The Turning Point of the Small Theater Community in the Kansai Area*  
by Shigefumi Fukatsu, Playwright, Director, and Artistic Director of Toenekai
- *The Days of Prosperity for Yubiwa Hotel*  
by Shiroshima Hitsujiya, Playwright, Director, Actor, and Artistic Director of Yubiwa Hotel
- *The Living Room Project at Sakira*  
by Tsuyoshi Shirai, Choreographer, Dancer, Video Artist, and Artistic Director of Study of Live works BANETO
- scenes from Morishita Studio: report on the Park Tower Next Dance Festival Pre-event *Next Next 4* and *Just before the performance!*

## 2. 共催事業 (セゾンシアタープログラム) Co-sponsorship Program (Saison Theater Program)

### 森下スタジオ若手舞踊家育成プログラム／ パークタワー・ネクストダンス・フェスティバル

東京ガス都市開発(株)パークタワー・アートプログラムが1996年から開催している若手舞踊家による新作公演フェスティバルを2000年度から共催。セゾン文化財団は同フェスティバルに参加する振付家に作品創作のための稽古場として森下スタジオを提供し、さらにその創作過程の一般公開と振付家と評論家との対談を交えた「Just Before the Performance!」を実施。また関連企画として、独自の舞踊家育成プログラムを実施している小スペースのSTスポット(横浜)、セッションハウス(東京)、DANCE BOX(大

阪)の協力を得て、次世代を担う振付家の育成と紹介を目的としたダンスショーケース「ネクスト・ネクスト4」を開催した。

#### ■ネクスト・ネクスト4(若手ダンスアーティストによるショーケース)

開催日: 2003年12月20日

会場: 森下スタジオCスタジオ

振付: 相原マユコ、鈴木ユキオ、高野美和子、林貞之

#### ■Just Before the Performance!(稽古場見学)

期間: 2004年2月7日、2月13日、2月17日

会場: 森下スタジオCスタジオ

出演: 砂連尾理十寺田みさこ×桜井圭介(ダンス批評)、矢内原美邦(ニブロール主宰)×石井達朗(舞踊評論家)、黒田育世(BATIK主宰)×松澤慶信(舞踊美学)

### ■第8回パークタワー・ネクストダンス・フェスティバル

期間: 2004年2月25日ー3月3日

会場: パークタワーホール

出演: 砂連尾理十寺田みさこ、矢内原美邦／ニブロール、黒田育世／BATIK

### ティーファクトリー「ハムレットクローン」公演

1999年に一年間をかけてワークショップを重ねて創作し、2000年に東京・大阪・愛知で初演を行った『ハムレットクローン』(川村毅作・演出)は、当財団の国際交流助成プログラム「継続プロジェクト支援」で2001年度より、海外でのワークショップやリーディングをへて研磨されてきた作品である。こうした国際交流活動を経て得たものを活かし、2003年にパフォーマーと台本を一新してワークショップ、コラボレーションを通じて改作した上で、同年9月のドイツツアーのプレ公演とし



Miwako Takano/time and locus, Sadayuki Hayashi/Golgi Worx, Mayuko Aihara/j.a.m. Dance Theatre, and Yukio Suzuki/Kingyo x 10 at Next Next 4, Morishita Studio, December 2003.  
Photos: Koichiro Saito

a) Mayuko Aihara/j.a.m. Dance Theatre  
b) Sadayuki Hayashi/Golgi Worx  
c) Miwako Takano/time and locus  
d) Yukio Suzuki/Kingyo x 10

て、森下スタジオにて12公演（ポストショー  
ディスカッション等を含む）を実施した。

期間：2003年6月28日－7月6日  
会場：森下スタジオCスタジオ

#### 劇団解体社『バイバイ/幻影』公演

1999年の初演以来、欧米で上演を重ねてきた劇団解体社の『バイバイ』シリーズは、2001年に森下スタジオでの初演作品『バイバイ/未開へ』以降、いくつかの国際共同制作と9.11以降の政治状況の変化等に応答しつつ、進化し続けてきた作品。2003年に再度、森下スタジオで上演する機会を通して、本作品の現在の新たな姿を発表した。

期間：2003年11月14日－16日、11月20日－22日  
会場：森下スタジオCスタジオ

#### Dance Artist Development Program at Morishita Studio/Park Tower Next Dance Festival

Since 2000, the Saison Foundation has co-sponsored the Next Dance Festival with Tokyo Gas Urban Development Co., Ltd., the company which operates the Park Tower Hall in Shinjuku, Tokyo and organizes the dance festival that started in 1996 to provide opportunities to young dance artists to create and show their new work. The Saison Foundation offered the rehearsal facilities at Morishita Studio to three choreographers

invited to the festival. A series of work-in-progress showing and discussion events entitled *Just Before the Performance!* at the studio was also held at the studio in prior to the dance festival, in which audiences could observe the creative process of each participating choreographer and join in the discussions between the choreographers and critics. Additionally, a related event for even younger artists entitled *Next Next 4* took place at Morishita in cooperation with the producers of three performing spaces that administer development programs of their own, namely, Session House of Tokyo, ST Spot of Yokohama, and Dance Box of Osaka.

##### ■Next Next 4 (a showcase of young dance artists' works)

Dates: December 20, 2003  
Venue: Studio C at Morishita Studio  
Participating artists: Mayuko Aihara, Yukio Suzuki, Miwako Takano, and Sadayuki Hayashi

##### ■Just Before the Performance! (a series of work-in-progress showings and discussions held in prior to the Next Dance Festival)

Dates: February 7, 13, and 17, 2004  
Venue: Studio C at Morishita Studio  
Participating artists and critics: Osamu Jareo + Misako Terada and Keisuke Sakurai (Dance Critic); Mikuni Yanaihara (Artistic Director of Nibroll) and Tatsuro Ishii (Dance Critic); Ikuyo Kuroda (Artistic Director of BATIK) and Yoshinobu Matsuzawa (Dance Aesthetics Critic)

##### ■The Seventh Park Tower Next Dance Festival

Dates: February 25 – March 3, 2004  
Venue: Park Tower Hall  
Participating artists: Osamu Jareo + Misako Terada; Mikuni Yanaihara/Nibroll; Ikuyo Kuroda/BATIK

#### Hamlet Clone by T factory

A co-sponsorship program with T factory, for the performances of *Hamlet Clone*, a play written and directed by the company's artistic director, Takeshi Kawamura. The play was originally created through a yearlong series of workshops in 1999 and was staged in Tokyo, Osaka, and in Aichi in 2000. Since 2001, the year the company was selected as a grantee under the Saison Foundation's three-year international grant program, the play went through workshops and reading sessions abroad. In 2003, with a new script and set of performers, it was remade and staged at Morishita Studio (twelve performances in total) in prior to their tour of Germany in September 2003.

Dates: June 28 - July 6, 2003  
Venue: Studio C at Morishita Studio

#### Gekidan Kaitaisha's Bye-Bye: Phantom

A co-sponsorship program with Gekidan Kaitaisha, the Tokyo-based theater company known for their interdisciplinary style and physically intense expression, for the latest version of their *Bye-Bye* series (written, created, and directed by the company's artistic director, Shinjin Shimizu) that began in 1999. After *Bye-Bye: The New Primitive*, which was staged at Morishita Studio in 2001, the play went through modifications that reflected the worldwide political changes after 9.11, and the most current version was shown to the Japanese public in 2003 at their second production at Morishita Studio.

Dates: November 14 - 16, November 20 - 22, 2003  
Venue: Studio C at Morishita Studio



Ikuyo Kuroda (center) at the *Just Before The Performance!* event with dance aesthetics critic Yoshinobu Matsuzawa (left) and emcee/dance producer Koichiro Takagi (far right), Morishita Studio, February 2004.



A scene from Gekidan Kaitaisha's *Bye-Bye: Phantom* at Morishita Studio, November 2003 Photo: MIYAUCHI Katsu

## 事業日誌

2003年4月—2004年3月

## Review of Activities

April 2003 – March 2004

### 2003年

- 4月2日 2003年度助成対象者面接期間(3月27日～)終了
- 5月31日 ニュースレター『viewpoint』第25号発行
- 5月30日 理事会開催(2002年度事業及び収支決算報告の件、常務理事選出の件)  
評議員会開催(2002年度事業及び収支決算報告の件)
- 6月10日 文化庁に2002年度事業及び収支決算報告書提出
- 6月28日 セゾンシアタープログラム ティーファクトリー『ハムレットクローン』公演(7月6日まで/森下スタジオにて)
- 8月31日 『viewpoint』第26号発行
- 10月1日 2004年度《現代演劇・舞踊助成》募集開始
- 10月20日 評議員会開催(寄附行為変更の件、理事選出の件)
- 10月31日 理事会開催(寄附行為変更の件、副理事長選出の件)
- 11月7日 寄附行為変更認可申請(文化庁)
- 11月14日 セゾンシアタープログラム 劇団解体社『バイバイ/幻影』公演(～11月16日、11月20日～22日/森下スタジオにて)
- 11月27日 (社)企業メセナ協議会よりメセナ大賞2003「舞台芸術牽引賞」を授与(東京都港区・スパイラルホールにて贈呈式開催)
- 12月2日 寄附行為変更の認可(文化庁)
- 12月10日 『viewpoint』第27号発行
- 12月19日 2004年度《現代演劇・舞踊助成》申請締切
- 12月20日 セゾンシアタープログラム 東京ガス都市開発(株)パークタワー・アートプログラムとの共催による若手振付家育成プログラム「パークタワー・ネクストダンス・フェスティバル」のプレイベント「ネクスト・ネクスト4」を森下スタジオにて開催

### 2004年

- 2月7日 セゾンシアタープログラム 東京ガス都市開発(株)パークタワー・アートプログラムとの共催事業「Just Before the Performance!」(稽古場見学および対談)を森下スタジオにて開催(2月13日、2月17日も)
- 2月20日 2004年度審査会開催
- 2月25日 セゾンシアタープログラム 東京ガス都市開発(株)パークタワー・アートプログラムとの共催事業「第8回パークタワー・ネクストダンス・フェスティバル」開催(3月3日まで/パークタワー・ホールにて)
- 3月11日 理事会開催(2004年度事業計画及び収支予算の件、会長選出の件、基本財産繰入の件)  
評議員会開催(2004年度事業計画及び収支予算の件)
- 3月12日 2004年度助成決定発表
- 3月15日 『viewpoint』第28号発行
- 3月22日 2004年度助成対象者面接期間開始
- 3月29日 文化庁に2004年度事業計画書及び収支予算書提出

### 2003

- April 2 Interview period (from March 27) with 2003 Grant and Studio Award recipients ends
- May 31 The Saison Foundation's newsletter *viewpoint* No. 25 is published
- May 30 Board of Directors Meeting is held in Tokyo (Agenda: report on activities and settlement of accounts for fiscal year 2002; election of the foundation's managing director)  
Board of Trustees Meeting is held in Tokyo (Agenda: report on activities and settlement of accounts for fiscal year 2002)
- June 10 Report on activities and settlement of accounts for fiscal year 2002 is submitted to the Agency for Cultural Affairs
- June 28 Saison Theater Program/T factory's performances of *Hamlet Clone* begin at Morishita Studio (till July 6)
- August 31 *viewpoint* No.26 is published
- October 1 Application period for the 2004 Contemporary Theater and Dance Grants and Studio Awards begins
- October 20 Board of Trustees Meeting is held in Tokyo (Agenda: amendment of the Articles of the Foundation; selection of Board of Directors)
- October 31 Board of Directors Meeting is held in Tokyo (Agenda: amendment of the Articles of the Foundation; election of the foundation's vice chairman)
- November 7 Approval request for the amendment of the Articles of the Foundation submitted to the Agency for Cultural Affairs
- November 14 Saison Theater Program/Gekidan Kaitaisha's performances of *Bye-Bye: Phantom* begin at Morishita Studio (till November 16 and from November 20 to November 22)
- November 27 The Saison Foundation receives the "Mecenat Award for Leading the Theatrical Arts" at the Association for Corporate Support of the Arts' Japan Mecenat Awards ceremony in Tokyo
- December 2 Amendment of the Articles of the Foundation is approved by the Agency for Cultural Affairs
- December 10 *viewpoint* No.27 is published
- December 19 Application deadline for the 2004 Contemporary Theater and Dance Grants and Studio Awards
- December 20 Saison Theater Program/*Next Next 4*, a co-sponsorship event with Tokyo Gas Urban Development Co., Ltd.'s Park Tower Art Program, featuring the works of young Japanese dance artists, takes place at Morishita Studio

### 2004

- February 7 Saison Theater Program/*Just Before the Performance!*, a series of work-in-progress showings and discussions held in prior to The Eighth Park Tower Next Dance Festival, begins at Morishita Studio (also on February 13 and 17)
- February 20 Evaluation and Selection Committee meeting for the 2004 Grant and Studio Awards takes place in Tokyo
- February 25 Saison Theater Program/The Eighth Park Tower Next Dance Festival is held at the Park Tower Hall in Tokyo in cooperation with Tokyo Gas Urban Development Co., Ltd.'s Park Tower Art Program (till March 3)
- March 11 Board of Directors Meeting is held in Tokyo (Agenda: proposal of plans and budget for fiscal year 2004; election of the foundation's chairman; transfer of endowment)  
Board of Trustees Meeting held in Tokyo (Agenda: proposal of plans and budget for fiscal year 2004)
- March 12 Announcement of 2004 Grant and Studio Awards
- March 15 *viewpoint* No.28 is published
- March 29 Plans and budget for fiscal year 2004 is submitted to the Agency for Cultural Affairs



## 会計報告 Financial Report

### 収支計算書

2003年4月1日～2004年3月31日

#### STATEMENT OF REVENUES AND EXPENSES

from April 1, 2003 to March 31, 2004

単位: 円/in yen

| I 収入の部      |  | REVENUES    |  |
|-------------|--|-------------|--|
| 1. 基本財産運用収入 | Investment income from endowment       | 109,497,100 |  |
| 2. 運用財産運用収入 | Investment income from operating funds | 92,298,902  |  |
| 3. 賃貸収入     | Income from lease                      | 10,128,525  |  |
| 4. その他の収入   | Other income                           | 2,412,444   |  |
| 当期収入合計      | Net Total Revenue                      | 214,336,971 |  |
| 前期繰越収支差額    | Balance brought forward                | 84,032,065  |  |
| 収入合計        | TOTAL REVENUE                          | 298,369,036 |  |
| II 支出の部     |  | EXPENSES    |  |
| 1. 事業費      | Program services                       | 145,519,788 |  |
| (うち助成事業)    | Grant programs                         | 69,000,000  |  |
| 2. 管理費      | Management and general                 | 62,154,966  |  |
| 当期支出合計      | Total expenses                         | 207,674,754 |  |
| 当期収支差額      | FUND BALANCES                          | 6,662,217   |  |
| 次期繰越収支差額    | BALANCE CARRIED FORWARD                | 90,694,282  |  |

### 貸借対照表

2004年3月31日現在

BALANCE SHEET as of March 31, 2004

単位: 円/in yen

| I 資産の部        |                                  | ASSETS        |  |
|---------------|----------------------------------|---------------|--|
| 1. 流動資産       | Current assets                   |               |  |
| 現金預金          | Cash                             | 39,295,232    |  |
| 未収収益等         | Accrued revenue                  | 52,437,066    |  |
| 流動資産合計        | Total current assets             | 91,732,298    |  |
| 2. 固定資産       | Fixed assets                     |               |  |
| 基本財産          | Endowment                        |               |  |
| 土地            | Land                             | 2,254,915,150 |  |
| 有価証券          | Securities                       | 5,104,400,000 |  |
| 基本財産合計        | Total endowment fund             | 7,359,315,150 |  |
| 特定目的資産        | Designated fund                  | 294,130,362   |  |
| その他の固定資産      | Other fixed assets               | 1,920,114,426 |  |
| 固定資産合計        | Total fixed assets               | 9,573,559,938 |  |
| 資産合計          | TOTAL ASSETS                     | 9,665,292,236 |  |
| II 負債の部       |                                  | LIABILITIES   |  |
| 負債合計          | TOTAL LIABILITIES                | 13,558,016    |  |
| III 正味財産の部    |                                  | NET ASSETS    |  |
| 正味財産          | Net assets                       | 9,651,734,220 |  |
| (うち基本金)       | Endowment fund                   | 7,359,315,150 |  |
| (うち当期正味財産減少額) | Decline of assets                | 546,651,488   |  |
| 負債および正味財産合計   | TOTAL LIABILITIES AND NET ASSETS | 9,665,292,236 |  |

## 資金助成の概況

### Summary of Grants 1987-2003

| 分野<br>category   | 年度<br>year     | 申請件数<br>number of<br>applications | 助成件数<br>number of<br>grants | 助成金額 (円)<br>grants in yen |
|--|----------------|-----------------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| <b>現代演劇・舞踊助成</b><br><b>Contemporary Theater and Dance Program Grants</b> |                |                                   |                             |                           |
|  | 1987-99        | 1,923                             | 430                         | 1,318,678,000             |
|  | 2000           | 160                               | 48                          | 92,600,000                |
|  | 2001           | 221                               | 45                          | 96,100,000                |
|  | 2002           | 219                               | 45                          | 77,500,000                |
|  | 2003           | 147                               | 40                          | 56,000,000                |
|  | 累計 total       | 2,670                             | 608                         | 1,640,878,000             |
| <b>非公募助成</b><br><b>Designated Fund Program Grants</b>                    |                |                                   |                             |                           |
|  | 1987-99        |                                   | 130                         | 569,394,000               |
|  | 2000           |                                   | 10                          | 25,208,000                |
|  | 2001           |                                   | 11                          | 22,140,000                |
|  | 2002           |                                   | 8                           | 21,000,000                |
|  | 2003           |                                   | 4                           | 13,000,000                |
|  | 累計 total       |                                   | 163                         | 650,742,000               |
|  | 合計 grand total |                                   | 771                         | 2,291,620,000             |

## 2003年度〈現代演劇・舞踊助成〉プログラムの概況

### Data on Contemporary Theater and Dance Programs in 2003

| プログラム<br>programs               | 国内プログラム<br>National Programs                                       |   |  |   | 国際交流プログラム<br>International Programs     |  |   | 合計<br>Total |
|---------------------------------|--|---|--|---|---|--|---|-------------|
|                                 | 創造環境整備<br>Creative Environment Improvement Programs                |   | 芸術創造<br>Artistic Creativity Enhancement Programs     |   | 知的交流<br>Intellectual Exchange Program   | 芸術交流<br>Artistic Exchange Programs   |   |             |
|                                 | ワークショップ、会議・シンポジウム等<br>Workshops;<br>Conferences and Symposia, etc. | アーツマネジメント<br>留学・研修<br>Arts Management Study Program | 芸術創造活動Ⅰ<br>Artistic Creativity Enhancement Program I | 芸術創造活動Ⅱ<br>Artistic Creativity Enhancement Program II | 知的交流活動<br>Intellectual Exchange Program | I: プロジェクト支援 (スタジオ助成)<br>I: Creative Exchange Program — For Single Year Projects (Studio Awards only) | Ⅱ: 継続プロジェクト支援<br>II: Creative Exchange Program — For Long-Term Projects |             |
| 申請件数<br>number of applications  | 41   | 2   | 81*  | 5**   | 10                                      | 7  | 1   | 147         |
| 助成件数<br>number of grants awards | 20   | 0   | 7*   | 4**   | 3                                       | 5  | 1   | 40          |
| 助成金額 (円)<br>grants in yen       | 16,700,000   | 0   | 21,000,000   | 12,000,000  | 3,300,000                               | —  | 3,000,000   | 69,000,000  |

\* うち継続5件 Including five extended grants

\*\* うち継続1件 Including one extended grant